

令和 2 年度

みなかみ町教育委員会点検・評価報告書

(令和元年度事業対象)

令和 3 年 2 月

みなかみ町教育委員会

目 次

1. 点検・評価の概要	1
2. みなかみ町の教育行政方針	5
3. 教育委員会会議・教育委員の活動状況	17
4. 教育委員会各事業	
学校教育課	31
生涯学習課	47
5. 学識経験者の意見等	67

1. 点検・評価の概要

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の知見を活用して点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

これに基づき、みなかみ町教育委員会では効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすことを目的として、同法の規定に基づいて実施した点検と評価の結果をまとめました。

この報告書は、教育委員会の活動について年度内の重要な施策事業について点検と評価を行うものであります。

みなかみ町教育委員会は点検と評価の実施を通じて、施策の効果的な実施と改善を図り、教育施策の着実な推進に努めたいと考えますので、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和 3 年 2 月

みなかみ町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

【教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等】

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象事業

対象事業は令和元年度事業とし、学校教育課、生涯学習課におけるそれぞれの重点項目事業とします。

3 点検評価の実施方法

教育委員会が行う事業の取組状況が施策と成果の報告書にまとめられています。この報告書を基とし、また教育委員会会議や教育委員の活動状況も含めた成果を、教育に関し学識経験を有する外部の皆さんに評価していただきました。

4 外部評価者

学校教育課関係 元 教 育 長	牧 野 堯 彦
生涯学習課関係 元社会教育委員 (元古馬牧小学校長)	矢 嶋 丈 久

敬称略

2. みなかみ町の教育行政方針

逞しく生きる心豊かな人々のまち

豊かな心と文化を育む

《基本理念》

みなかみ町教育委員会は、生涯学習の観点に立ち、幼児・児童・生徒並びに町民一人ひとりが夢や誇りを持つとともに、学校教育や社会教育・文化・スポーツ・さらには地域の貴重な歴史的・文化的資源などを活かして豊かな感性を育み、高い知性・健康な身体を培い、逞しく生きる心豊かな人々の町づくりを目指して教育行政を推進する。

《基本方針》

みなかみ町教育委員会は、基本理念の具体的実現を図るため、次の基本方針に沿って諸施策の推進に努める。

I 学校教育 …………… 逞しく「生きる力」を育む教育

1 学校教育の充実

「郷土みなかみを愛し、思いやりのある、強く逞しい児童・生徒の育成」を目指し、教育水準の向上や教育内容の充実を図り、逞しく「生きる力」を培うため、全教育活動を通じた学校教育の充実に努める。

2 教育環境の整備

学校教育の充実のため、小・中学校の統合を視野に入れた学校施設・設備や人的環境等の計画的な整備に努める。

II 生涯学習・文化・スポーツの振興 …………… 豊かなライフ・ステージを

3 生涯学習の推進

生きる喜びに満ち、心の豊かさと学ぶ意欲に溢れた生涯学習社会を目ざし、生涯学習推進体制の充実や関係機関・各種団体と連携を図り、町民の学習ニーズや人生の各時期に応じた学習の機会と場の提供に努める。

生涯学習社会に対応した多様な学習機会や施設・設備を整備するとともに、家庭や地域の教育機能の活性化を図るための諸施策の展開に努める。

4 文化財の保存と活用

町民の文化振興に関する意識を高め、誰もが楽しめる地域の文化活動を推進するとともに、関係機関と連携した文化財の保存・活用に努める。

5 生涯スポーツの推進

町民の生きがいと健康増進のため、みなかみ町スポーツ推進計画に基づき、全町民の生涯スポーツを目指し、軽スポーツの普及や地域に根ざしたスポーツ・競技スポーツの振興を図るとともに、施設・設備の整備に努める。

《重点施策》

学校教育の充実

I 逞しく「生きる力」を育む教育を

1 学校教育の充実

(1) 学校経営の充実

① 特色ある学校づくり（カリキュラム・マネジメント）

ア 校長の理念の確立とリーダーシップ

- ・管理職の人材育成能力の向上と職員の組織体制の確立

イ 課題を明確にした、適切な教育課程の編成・実施・評価・改善

- ・子ども、学校、地域の実態の適切な把握
- ・新学習指導要領の移行措置の確実な実施
- ・教科等横断的な視点からの組立

ウ 地域に根ざした多様な教育活動の展開

- ・地域資源の教育的活用（人・物・自然、ユネスコスクールの視点等）
- ・家庭・地域との連携の強化 地域学習、環境教育、福祉教育等
- ・学校支援センターの充実

② 幼・小・中連携教育の推進

ア 小・中学校間、こども園・小学校間の円滑な接続（不登校の未然防止）

- ・行事、授業、体験活動等を活用した異校種間の児童・生徒の交流
- ・小学校高学年の教科担任制
- ・英語4技能スキルアップ事業やALTを活用した英語教育・外国語活動の充実
- ・教員の異校種間交流の推進
- ・地区別推進委員会の充実

イ 小・中学校9年間を見通した教育課程の研究

- （道徳、算数・数学、英語、地域学習、福祉教育、キャリア教育、環境教育等）

③ 学校評価システムを活用した、組織的で、計画的・継続的な経営改善

(2) 学力の向上

① 学習指導の充実

ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現

- ・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成
- ・的確な学習状況の把握と個に応じたきめ細かな指導の充実
- ・ねらいを明確にし、めあての把握と振り返りを位置づけた授業の充実
- ・考えを深め広げる交流活動の充実
- ・ICTを活用した学習活動の充実

イ 組織的な取組の充実

- ・学力向上計画の徹底、学力向上特配と学力向上コーディネーターの有効活用
- ・意図的・計画的な家庭学習の充実と徹底
- ・学力検査等の結果分析と改善策を生かした授業の改善

ウ 英語教育・外国語活動の充実（英語力の向上）

- ・小・中学校の連携教育、9か年間にわたる英語教育の検討（三国会）
- ・ALTの全校配置の検討
- ・英語検定補助制度の導入・活用促進

(3) 教職員の資質の向上

① 教職員研修の充実

- ア 校内研修の内容及び方法の改善・充実
- イ 各種教員研修の充実（初任研、経験者研修、へきセン等）
- ウ 個人の研究課題による研修（自己研修）の充実
- エ 一人一研究授業の実践及び「はばたく群馬の指導プラン」の活用
- オ 三国会の研修の充実（小・中連携教育の推進・資質向上・異校種間交流）

② 教職員の心身の健康管理

- ア 職員室の環境づくり（互いに学び合い・支え合い、組織で取り組む）
- イ 労働安全衛生管理体制の整備促進
- ウ 教職員の業務改善・意識改革につながる取組の推進
 - ・勤務時間の管理（長時間勤務の改善）、部活動の適切な実施
 - ・総合校務支援システムの導入・活用促進

③ 教職員の服務規律の確保（教育者としての使命と責任の自覚）

- ・服務規律行動計画の周知・徹底

(4) 心豊かな児童・生徒の育成

① 道徳教育の充実

- ア 「考え、議論する道徳」に向けた授業改善
- イ 体験活動、諸行事等との関連を意図した指導の充実
- ウ 道徳教育推進教師を核にした組織的な取組（量的・質的確保）
- エ 他者を思いやる心、郷土を愛する心、生命を尊重する心、自立心や自律性の育成……いじめ防止・福祉教育との関連
 - ・あいさつ運動の徹底と拡大（おもてなしの心・明るい町）
 - ・体験活動等を通じたふるさと学習（ボランティア、みなかみ町の自然体験等）
 - ・自殺予防
- オ 家庭・地域との連携による徳性の涵養
 - ・家庭・地域の協力による基本的生活習慣の確立
- カ 情報モラル教育の推進

② 生徒指導の充実

- ア 児童・生徒の安全・安心の確保
 - ・通学路、登下校時の安全確保……スクールバス等の安全運行
 - ・交通安全、不審者、鳥獣等からの安全確保
 - ・自然災害等からの安全確保
 - ・食の安全……食物アレルギーへの対応
 - ・地域における安全・安心協議会との連携の充実
- イ 自己肯定感・自己有用感を育てる指導の実践（個性の伸長）
 - ・全教育活動（授業、部活動、諸行事、学級活動、児童会・生徒会活動等）
 - ・情報モラルの育成
 - ・いじめ防止活動等の充実
 - ・不登校児童・生徒への支援と未然防止
- ウ 豊かで和やかな人間関係の醸成（児童・生徒間、教師間、保護者間、及びそれら相互間）

- ・小中連携による中学校区ごとのあいさつ運動の展開
- ・中学生海外派遣事業や奄美市笠利町との青少年交流事業等の児童・生徒間の交流体験による人間関係力の醸成
- エ 教育相談の充実
 - ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用
- オ 適応指導教室の充実
- カ 家庭・地域・関係諸機関・団体等との連携（健全育成・安全・安心の確保等）

③ 健やかな体の育成

- ア 児童・生徒の体力の向上
 - ・体力向上プランを活用した組織的な取組
 - ・教科体育、体育的行事の充実
 - ・朝活動や放課後時間の活用の工夫
 - ・健康づくりへの意欲と安全意識の高揚に関する指導の充実
 - ・適正な運動部活動の実施、外部指導者及び地域スポーツ団体等との連携
 - ・社会体育の活用と充実
- イ 児童・生徒の心身の健康の保持増進
 - ・各種調査結果の効果的活用（肥満、虫歯、視力の低下等への対策）
 - ・健康診断の実施と事後指導の充実
 - ・食育による正しい知識と望ましい食習慣の推進
 - 家庭と連携した「お弁当の日」の活用
 - 学校給食における地産地消の推進

④ キャリア教育（進路指導）の充実

- ア 地域や小・中学校の実態を踏まえたキャリア教育の年間計画の作成と実践
 - ・地元企業等を活用した職場体験、体験入学等の啓発的体験的活動の充実
 - ・地域の人材資源等の活用
- イ 特別活動の学級活動を要とした、学校の教育活動全体を通じた指導
- ウ 進路相談の計画的な実施
- エ 中学生海外派遣事業や奄美市笠利町との青少年交流事業の充実
- オ 外部の教育力の導入と活用 …… 中学生議会

⑤ 人権教育の推進

- ア 全体計画・指導計画の充実と実践
- イ 全教育活動を通じた人権尊重の精神の育成
 - ・人権啓発活動の推進（人権作文・人権ポスター等）
 - ・「いじめを出さない」日常の指導といじめ防止子ども会議等の充実
 - ・児童会・生徒会等、児童・生徒の主体的活躍の推進
- ウ 人権擁護委員等との連携

⑥ 福祉・環境教育の充実

- ア 全教育活動を通じた福祉・環境教育の充実
- イ 福祉・環境問題への具体的実践
 - ・あいさつ運動

- ・ボランティア活動の推進(地域の花植え、老人ホーム慰問、ゴミゼロ運動等)
- ウ みなかみユネスコエコパークの推進(地域資源の教育的活用)
- ・持続可能な開発のための教育(E S D)とユネスコスクール活動の推進
- ・谷川岳エコツアーリズム、環境学習発表会、みなかみ源流大学等の活用

⑦ 読書活動の推進

- ア 学校図書館の充実
 - ・蔵書量と読書時間の増加及び学校図書館の環境整備
 - ・児童・生徒の図書委員会の活動
- イ 家庭における読書のすすめ
- ウ 図書館司書教諭の積極的活用

(5) 特別支援教育の充実

- ア 乳幼児から成人期までの支援システムの実践
 - ・町教育支援委員会の充実(専門家チームの活用)
 - ・特別支援学級の指導の充実
 - ・通常学級における指導の研究と改善
 - ・支援員等の適切な配置・活用
- イ 通級指導教室の充実 4校で実施(桃野小・水上小・新治小・水上中)
- ウ こども園・小・中学校間の交流と連携の強化
- エ 子育て健康課など地域関連機関との連携・推進

(6) 幼児教育の充実

- ア 適切な教育課程の編成・実施・評価・改善
- イ 「思いやりのある子」を育てる教育の充実
- ウ 保育教諭等の資質の向上
 - ・園内研修の充実
 - ・研修会への参加
- エ こども園・小学校との連携
 - ・特別支援教育の充実
 - ・小1プロブレムの解消
- オ 町教育支援委員会との連携

2 教育環境の整備

(1) 環境整備

- ア 安全・安心の確保
 - ・教育施設・設備等の安全確保
 - ・スクールバスの安全確保・通学路の安全確保(交通安全、不審者・鳥獣対策)
 - ・校内生活での安全・安心の確保
 - ・食の安全確保…食物アレルギーへの対応
 - ・地域との連携(安心安全・育成協議会「見守り隊」や「110番の家」の活用)
- イ 防犯、防災など安全対策の充実
 - ・災害対応マニュアルに基づいた体制整備(台風、地震、大雪、大雨等)
 - ・自らの命は自らが守る教育(危機管理能力の育成)の推進

・学校・家庭・地域が連携した防災教育の推進

(2) 国際理解・交流学習の推進（人間関係力・自己有用感の育成）

- ・中学生海外派遣事業への参加
- ・小学生奄美市笠利町との青少年交流事業への参加
- ・文化芸術による子供の育成事業への参加（劇団「風」との交流）
- ・藤原小・中と水上小・中の合同学習

(3) 教職員等の人的環境整備

- ア ALTの適切な配置（小・中学校での英語教育の充実、小・中連携教育）
- イ 特別支援教育に係る補助教員兼支援員・介助員等の適切な配置

(4) 小・中学校の統合の推進

- ・中学校・月夜野地区小学校を中心としたみなかみ町立小中学校統合推進計画に基づく統合の推進

II 豊かなスタディ・チャンス

生涯学習の推進

3 生涯学習の振興

(1) 生涯学習体制の整備・充実

- ① 「心豊かな町民」を目指す生涯学習の推進
 - ア 生涯学習推進のための各種企画の創意工夫
 - ・講座、講習、現地研修、文化祭、講演会、諸大会等
 - イ 学習成果発表の場の提供
 - ・文化祭、生涯学習フェスティバル、報告会、優秀選手表彰式等
- ② 生涯学習関連施設の活用
 - ア 町公民館、図書室、カルチャーセンター、歴史民俗資料館等
 - イ 体育関連施設（社会体育、学校体育）等
- ③ 生涯学習指導者の育成・確保
 - ア 指導者、学習ボランティア、コーディネーター、シニアリーダーの活用
- ④ 学校教育との連携、地域と学校の協働による取組の推進（学社連携）
- ⑤ 生涯学習に関する諸情報の提供 生涯学習だより等
- ⑥ 各種施設との広域的ネットワーク体制の構築

(2) 学習機会の提供

- ① 各種町民教養講座・教室等の開催 公民館・カルチャーセンター等
 - ア 受講生拡大の工夫
 - イ 各種団体による講演会や講座の支援
 - ウ 自主グループ育成への支援と助言
 - …子ども歌舞伎、みなかみ牧水会等
- ② 4図書室の充実
 - ア 図書の充実

- ・蔵書量の充実
- ・町民のニーズへの対応
- イ 読書推進活動
 - ・幅広い年齢層への対応
 - ・読書量、利用者増大への工夫…お話しの会の活動支援
- ウ 広報活動
- エ 全町図書室運営の充実
 - ・図書室環境の改善・整備
 - ・ネットワークの構築、管理の一元化（データベースの作成等）

4 社会教育の充実

(1) 社会教育諸条件の整備・充実

- ① 社会教育施設の利用促進
- ② 社会教育関係団体の育成・連携
 - ・子ども会育成会・婦人会・PTA 連合・青少推・スポーツ少年団・体育協会・文化協会等
- ③ 人権教育の充実 町民福祉課・子育て健康課との連携
 - ア 人権学習 正しい認識形成と啓発
 - ・社会教育委員の研修・講演会・家庭教育学級での学習会
 - ・人権擁護委員会との連携・協同活動
 - イ 人権啓発活動
 - ・人権ポスターの募集・表彰
 - ・講演会（町民福祉課、子育て健康課と連携）

(2) 青少年教育の充実

- ① 青少年育成活動の充実
 - ア 子ども会の育成
 - イ 青少年育成指導者の育成 みなかみキッズセンター
- ② 青少年活動の充実
 - ア 学校外活動（青少年育成事業）の推進
 - ・放課後子ども教室 ・おもしろ科学教室 ・奄美市笠利町との青少年交流事業等
 - イ 地域行事参加による体験・交流
 - ・かるた大会・地域清掃活動・地域行事・あいさつ運動
 - ・子ども会ラフティング教室
- ③ 子ども活動に関する諸事業の推進・充実
 - ・ガールスカウト・スポーツ少年団

子育て支援の充実

(3) 青少年健全育成

- ① 青少年健全育成団体相互の連携と協力
 - ・青少年育成推進員連絡協議会との連携
 - ・あいさつ運動と地域環境の美化活動の展開
- ② 体験活動の推進
 - ・週末等における体験教室の推進
(みなかみキッズセンターによる体験教室、ものづくり教室)
- ③ 青少年健全育成活動の充実と非行防止

・パトロール・啓発活動（ポスター・標語の配付）

④ 有害環境浄化活動の推進

- ・SNS等に関する被害の未然防止
- ・社会環境実態調査
- ・児童・生徒の問題行動の未然防止

（４）家庭教育の充実

① 時期に応じた家庭教育の充実

- ・子育て講座（・就学時子育て講座・思春期子育て講座）
※ 町民福祉課子育てセミナー
- ・子育て支援… 放課後子ども教室の充実
6 小学校子ども教室運営への支援

② PTA活動の充実

- ・PTAの連携活動・共通課題の解決への努力

③ 自主活動への支援

- ・諸団体の活動
- ・地域活動への参加

5 文化の振興

（１）芸術文化活動の推進

生涯学習の推進

① 文化施設の充実

ア 公民館・カルチャーセンター等の運営の充実

② 文化活動推進体制の充実

- ア 文化振興事業の支援・発信
- イ 町民とアーティストの交流による文化振興
- ウ 文化活動に関する広報・啓発活動

③ 文化活動の促進

- ア 各文化団体の活動計画の把握と促進
- イ 地域文化の伝統継承への支援
- ウ 後継者不足の課題解決への研究（文化団体、保存会の育成支援）
・文化振興補助金等の活用 活動機会の促進
- エ 町文化祭への参加促進

文化財の保存と活用

（２）文化財保護と普及活動

- ① 指定文化財整備と活用の促進（歴史を活かしたまちづくり事業等）
- ② 文化財調査・保護の実施
・文化財調査委員会の活動の充実
- ③ 町内文化財の点検と文化財リストの作成
- ④ 文化財の展示施設の整備と活用 展示方法等の検討
- ⑤ 文化財を活かした学習の推進と郷土愛の醸成
・小・中学校の学習への利用促進 ガイドの会との連携

6 スポーツ活動の充実

(1) 指導体制の充実

① 指導体制の充実

ア スポーツ推進委員の有効活用

・全町民生涯スポーツ推進のための計画的活動

イ 地域スポーツ指導者の育成と確保

② スポーツ団体等の育成と指導者の養成

・指導者研修会の開催、スポーツ少年団・母子集団の研修会開催

③ スポーツ情報提供・相談体制の整備 体育協会による広報の発行

④ スポーツ施設・設備の整備・充実…体育施設整備計画に基づき順次整備を実施

(2) みなかみ町スポーツ推進計画によるスポーツ活動の充実

① 生涯スポーツ活動の振興

ア 地域スポーツの振興・組織の構築・活動支援の充実

イ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

ウ ニュースポーツ、軽スポーツの啓発・普及と活動

・ノルディックウォーク・スポーツ吹矢等

エ スポーツ企業との連携

オ みなかみ源流大学との連携

② 競技スポーツの振興

ア 優秀選手・指導者の表彰

イ 各種選手強化対策の推進

ウ 競技スポーツの指導者の育成

エ 体育協会の活動の充実

・体育に関する講習会・研修会の開催

・各種競技大会・教室の開催

・各種スポーツ競技団体の結成及び育成

・スポーツ少年団の育成

・競技指導者及び審判員の養成

オ スポーツ企業との連携

(3) 地元開催大会の支援

① 平成32年度全国高等学校総合体育大会登山大会の準備・運営

ア 大会開催に向けた準備

② 群馬県小学生総合体育大会への支援

ア 競技備品の整備

イ スキー大会開催支援

③ 2028群馬国体への準備

ア ホッケー競技の普及（小学生ホッケー教室の実施）

イ ホッケーグラウンドの計画的な管理

3. 教育委員会会議・教育委員の 活動状況

1 教育委員会会議・教育委員の活動状況

●みなかみ町教育委員名簿

平成31年4月1日 現在

職 名	氏 名	委員就任日	役職就任日	任 期
教 育 長	田村 義和	H30. 4. 1	H30. 4. 1	R 3. 3. 31
教育長職務代理者	鈴木 長善	H29. 11. 26	H31. 4. 1	R 2. 3. 31
委 員	根津 公安	H31. 4. 1		R 5. 3. 31
委 員	利根川太郎	H29. 11. 26		R 3. 3. 31
委 員	阿部 剛	H30. 4. 1		R 4. 3. 31

●令和元年度教育委員会会議(定例会・臨時会)の開催状況

教育委員会の会議は原則6月、9月、11月、3月の年4回開催される定例会と、必要に応じ開催される臨時会があり、以下のとおり開催し審議されました。

(平成31年4月～令和2年3月まで)

開催日	区 分	議案・報告等
(平成31年) 4月 9日 (第1回)	臨時会	議案第1号 みなかみ町立古馬牧小学校外3校空調設備整備工事請負契約の締結について 議案第2号 みなかみ町立水上小学校外3校空調設備整備工事請負契約の締結について 議案第3号 みなかみ町立新治小学校外1校空調設備整備工事請負契約の締結について 報告第1号 損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について(協議) なし
(令和元年) 5月28日 (第2回)	定例会	議案第4号 みなかみ町適正教育支援委員会規程の一部改正について 議案第5号 みなかみ町カルチャーセンター条例の一部改正について

開催日	区 分	議案・報告等
(令和元年) 5月28日 (第2回)	定例会	議案第6号 みなかみ町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正について 議案第7号 令和元年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について 報告第2号 みなかみ町社会教育委員の委嘱について (協 議) ①教育大綱の見直しについて ②奄美市笠利町との交流事業について
7月18日 (第3回)	臨時会	議案第8号 令和2年度使用教科用図書の採択について 議案第9号 令和元年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について(再審査) (協 議) ①第14回みなかみ町体育祭について ②カルチャーセンター自主事業「映画上映会」について ③東京2020オリンピック聖火ランナーの募集について
8月29日 (第4回)	定例会	議案第10号 令和元年度みなかみ町一般会計予算9月補正予算について 議案第11号 みなかみ町スクールバスの設置に関する条例の一部を改正する条例について 議案第12号 消費税引き上げに伴う関係条例の改正について(みなかみ町公民館条例の一部を改正する条例ほか7件) 議案第13号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の認定について

開催日	区 分	議案・報告等
8月29日 (第4回)	定例会	報告第3号 みなかみ町立水上小学校外3校空調設備整備工事請負 変更契約の専決処分報告について 報告第4号 みなかみ町立新治小学校外1校空調設備整備工事請負 変更契約の専決処分報告について (協 議) ①令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について ②県中学校総合体育大会等の結果について ③小・中学校、こども園運動会の来賓分担について ④中学生海外派遣事業(台南)について ⑤奄美市笠利町との交流事業について ⑥生涯学習フェスティバルについて
11月28日 (第5回)	定例会	議案第14号 令和元年度みなかみ町一般会計予算12月補正予算に ついて 議案第15号 みなかみ町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支 給要綱の一部改正について 議案第16号 みなかみ町立学校教育職員の勤務時間の上限に関する ガイドラインの制定について 報告第5号 損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について 報告第6号 令和元年度末利根沼田地区教職員人事に関する基本方 針について (協 議) ①教育大綱の改定について ②中学生海外派遣(台南)事業について ③カルチャーセンターの指定管理について ④成人式について
(令和2年) 2月27日 (第6回)	定例会	議案第17号 令和2年度みなかみ町教育行政方針(案)について 議案第18号 みなかみ町立学校設置条例の一部改正について

開催日	区 分	議案・報告等
2月27日 (第6回)	定例会	議案第19号 学校給食費の決定について 議案第20号 カルチャーセンター条例施行規則の一部改正について 議案第21号 令和元年度みなかみ町一般会計予算9月補正予算について 議案第22号 令和2年度みなかみ町一般会計予算について 議案第23号 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助金（新入学学用品費の入学前支給）の認定について 議案第24号 区域外就学について (協 議) ①小中学校・こども園の卒業（園）式、入学（園）式について ②カルチャーセンター指定管理に伴う一般公募の結果について ③成人年齢改正による今後の成人式について ④奄美市笠利町との青少年交流事業について
3月18日 (第7回)	臨時会	議案第25号 令和元年度末教職員人事異動について 議案第26号 みなかみ町招致外国青年任用規則の一部改正について 議案第27号 みなかみ町立学校教育職員の勤務時間の上限に関するガイドラインの一部改正について 議案第28号 みなかみ町立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について 議案第29号 みなかみ町立中学校部活動指導員設置要綱の制定について 議案第30号 みなかみ町奨学金の認定について

開催日	区 分	議案・報告等
3月18日 (第7回)	臨時会	議案第31号 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助金（新入 学学用品費の入学前支給）の認定について 議案第32号 みなかみ町教育委員会事務局等の組織及び事務処理規 則の一部改正について 報告第7号 みなかみ町教育委員会教育長職務代理者の指名につい て （協 議） なし

(平成31年4月～令和2年3月)

区 分	回 数	議案件数	協議件数	報告件数	選挙回数	教育長事務報告
定例会	4	19	16	5		4
臨時会	3	13	3	2		

● 令和元年度総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正（平成27年4月1日施行）に伴い、町長と教育委員が構成員となり、相互の十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有するため総合教育会議が設置されました。

総合教育会議において、町長は教育委員と協議して、教育に関する総合的な施策の大綱を策定するとともに、教育に関する重点的な施策について協議することとなっています。令和元年度には以下のとおり開催され、協議を行いました。

開催日	案 件 等
(令和元年) 6月27日	1. みなかみ町立小中学校統合推進計画について
(令和2年) 1月20日	1. みなかみ町教育大綱（令和2年3月改定）について 2. みなかみ町立小中学校統合推進計画について 1) 藤原中学校の統合について 2) 月夜野地区小学校の統合について

●教育長・教育委員の活動

教育委員会は、定例会以外に各種研修会及び教育委員会主催の行事に参加しています。
また、各小中学校へも学校訪問をして教育環境の整備や体制づくりに努めています。

(平成31年4月～令和2年3月まで)

期 日		行 事 予 定
4月 1日	月	教職員辞令交付式 教育委員辞令交付式
4日	木	グランドゴルフ協会定期総会
8日	月	小・中学校入学式
9日	火	三国会運営委員会 利根商入学式 第1回教育委員会
10日	水	スポーツ推進委員会議
11日	木	利根沼田教育長校長等合同協議会 ヘきセン入所式及び理事会
12日	金	教職員離退任式
13日	土	わかくりこども園入園式
17日	水	区長会総会
18日	木	文化協会総会
19日	金	川口市教育員会からの訪問
20日	土	少年サッカー大会開会式
22日	月	地区人事総括会議
23日	火	ゲートボール春季大会
24日	水	高校総体打合せ 三国会総会 みなかみ町体育協会総会
26日	金	みなかみ町子育連総会
28日	日	利根沼田吟詩舞道発表会
5月 1日	水	天皇即位
5日	日	群馬県ターゲット・バードゴルフ協会ルール研修会及び競技大会
7日	火	第1回教育委員会訪問
9日	木	放課後子ども教室運営委員会
10日	金	劇団風藤原小中ワークショップ
13日	月	県市町村教育長協議会定例会 第1回県市町村教育長人事会議
14日	火	利根沼田中高生徒指導対策協議会第1回役員会議・総会
15日	水	月夜野中学校訪問 スポーツ少年団総会
16日	木	第1回県教育長会議 月夜野中柔道部田中君ロシア大会出場町長
17日	金	水上中学校訪問 第1回定期代議員会
20日	月	利根郡体育協会総会
21日	火	町長杯ゲートボール大会 カルチャーセンター運営委員会 社会教育委員会議
23日	木	月夜野北小学校訪問 小中学校統合地区説明会(水上)
24日	金	入須川・恋越合同敬老会
25日	土	ガールスカウト群馬県第27団入団式 体育協会総合開会式

期 日		行 事 予 定
5月27日	月	春季グラウンドゴルフ大会兼多目的広場オープン記念大会 小中学校統合地区説明会（新治）
28日	火	第2回教育委員会
30日	木	みなかみ町俳句大会 教科用図書採択会議
31日	金	桃野小学校訪問 高校総体実行委員会設立総会
6月 1日	土	利根沼田PTA指導者研修会
3日	月	新治中学校訪問
4日	火	三宅村教育委員会表敬訪問
7日	金	小中学校統合地区説明会（桃野小）
8日	土	愛のチャリティ芸能大会
9日	日	あるけあるけ大会（一ノ倉沢）
12日	水	小中学校統合地区説明会（古馬牧小）
13日	木	教育委員会訪問（生涯学習係） 教育委員会協議会
16日	日	みなかみ町合唱祭
17日	月	新治小学校訪問 第2回教育長会議
18日	火	小中学校統合地区説明会（藤原）
19日	水	国民平和大行進関係者あいさつ 総務文教常任委員会視察（倉渕英語村）
21日	金	小中学校統合地区説明会（月夜野北小）
25日	火	非核平和行進
27日	木	水上小学校訪問 第1回総合教育会議
28日	金	令和元年度利根郡教育委員会総会
29日	土	ホタル鑑賞の夕べ
7月 2日	火	古馬牧小学校訪問 奄美交流事前説明会
3日	水	第1回町学校保健委員会 放課後こども教室研修会
7日	日	国民平和大行進
9日	火	学校給食運営委員会 校務支援システム打合せ
11日	木	教科用図書関係会議
12日	金	高橋弘氏高齢者叙勲伝達 町民体育祭説明会
16日	火	社会教育委員会
17日	水	第3回教育長会議 利根郡学校関係ICT協議会設立総会 県市町村教育長会議
18日	木	第3回教育委員会
19日	金	終業式
25日	木	総合教育センター来庁
29日	月	中学校統合準備委員会
30日	火	教育支援委員会全体会
31日	水	利根郡小学校水泳記録会

期 日		行 事 予 定
8月 1日	木	奄美青少年交流事業（8／1～8／5）
6日	火	台南派遣事業打合せ 新治中金井君中体連関東大会・新治中長谷川君全国大会出場町長表敬訪問
7日	水	青少年赤十字連絡協議会
8日	木	統合準備委員会地域関連部会
18日	日	カルチャーセンター自主事業「映画上映会」
20日	火	SDGs職員研修 統合準備委員会総務部会
21日	水	区長会役員会議
22日	木	学校保健委員会講演会
23日	金	関東高校ホッケー大会役員表敬訪問
24日	土	少年の主張利根沼田大会 藤原湖マラソン大会前夜祭
25日	日	デサント藤原湖マラソン
26日	月	始業式
28日	水	社会教育委員会
29日	木	第4回教育委員会 ICTプロポーザル審査委員会
30日	金	統合準備委員会学校運営部会 新治中長谷川君中体連柔道全国優勝報告
31日	土	花と緑のぐんまづくり開会式 赤谷湖上花火大会
9月 7日	土	水上中学校運動会 八木節華藤会15周年記念発表会 おいで祭り
10日	火	第47回知的障害者福祉パレード 第2回統合学校運営部会
14日	土	新治小学校運動会 月夜野北小学校運動会 劇団風公開舞台稽
17日	火	第4回社会教育委員会 利根商渋谷教育長来庁 増田前教育長通夜式
18日	水	第1回地区人事会議 増田前教育長告別式
23日	月	茂左衛門弓道大会 花と緑のぐんまづくり閉会式
25日	水	第2回地区人事会議
26日	木	統合準備委員会地域関連部会
27日	金	みなかみ町DC実行委員会
28日	土	にいはるこども園運動会
29日	日	町民体育祭
10月 1日	火	人事に関する教育長・校長合同研修会
2日	水	統合総務部会長打合せ
3日	木	新治小学校訪問
6日	日	昭和村秋まつりオープニングセレモニー
7日	月	新治中金井選手全国ジュニアオリンピック卓球出場町長表敬訪問
9日	水	布施郵便局長来庁 新治中学校訪問
10日	木	利根沼田小学校陸上記録会 第2回中学校統合総務部会

期 日		行 事 予 定
10月11日	金	明かるい社会づくりの会あいさつ 水上中学校訪問
12日	土	生涯学習フェスティバル（台風のため中止）
15日	火	総合戦略策定創生会議 みなかみ花火大会実行委員会
16日	水	昭和村統合関係視察対応
17日	木	月夜野中学校英語授業公開
18日	金	平和式典・戦没者追悼式
19日	土	利根商モール みなかみ花火大会（中止）
20日	日	防火ポスターコンクール表彰式
21日	月	県スポーツ大会結団式
23日	水	まるごと給食試食会（新治小） 水上小学校訪問
25日	金	桃野小学校訪問
27日	日	みなかみ町秋季地域安全パレード
29日	火	中学校統合学校運営部会
31日	木	郡教育委員会連絡協議会定例会議
11月 1日	金	利根実創立100周年記念式典・記念講演 学校警察連絡協議会役員会
2日	土	文化祭開会式
3日	日	文化祭俳句短歌表彰式
5日	火	中学生海外派遣事業（台南）打合せ 三国会運営委員会
6日	水	利根郡小中学校児童生徒音楽祭 音楽祭午後の部 中学生海外派遣（台南）事業説明会
7日	木	にいはるこども園訪問 県市町村教育長協議会 県市町村教育長人事会議
8日	金	県へき地教育全体会議 社会教育委員会議 関東高校選抜ホッケー大会開会式
10日	日	県民スポーツ大会応援
12日	火	中学校統合学校運営部会
13日	水	ふるさと藤原祭開会行事 市町村教育委員全体研修会
14日	木	みなかみ町花火大会実行委員会
15日	金	沼田特別支援学校創立20周年記念式典 月夜野中学校訪問
17日	日	若山牧水短歌大会
19日	火	学校統合総務部会
21日	木	三国会授業研究会
22日	金	藤原小中学校訪問
23日	土	第61回利根沼田青少年柔剣道大会
26日	火	みなかみ花火大会監査
28日	木	第5回教育委員会 中学校統合地域関連部会
29日	金	中学校統合学校運営部会

期 日		行 事 予 定
12月	1日 日	人権啓発ふれあい交流会
	5日 木	谷川地区感謝の集い
	7日 土	地元県議を囲む教育懇談会
	8日 日	町上毛カルタ大会
	9日 月	藤原地区統合検討会議
	10日 火	中学校統合学校運営部会
	11日 水	郵便局年賀状贈呈式 中学生海外派遣事業（台南）壮行会
	17日 火	社会教育委員会議 中学校統合準備委員会
	18日 水	教育支援員会（全体会）
	19日 木	劇団風桃小巡回講演（桃野小）
	23日 月	終業式
	24日 火	中学生台南派遣出発式（見送り） 沼田・利根地区教育関係者等懇談会事前説明
	25日 水	沼田・利根地区教育関係者等懇談会
	27日 金	仕事納め式 教育員会事務局仕事納め
1月	5日 日	みなかみ町消防団出初め式
	6日 月	仕事始め
	7日 火	新年賀詞交歓会 始業式
	8日 水	第3回利根沼田地区人事会議 中学校統合学校運営部会
	9日 木	町村教育長・教育委員合同研修会
	10日 金	教育委員会点検・評価会議
	12日 日	みなかみ町成人式
	13日 月	群馬県中学校総合体育大会・中学校スキー大会開会式
	15日 水	奄美冬交流説明会
	16日 木	第4回利根沼田地区人事会議 ヘキセン教育論文・実践記録審査会
	17日 金	教育委員会協議会
	20日 月	第2回総合教育会議
	21日 火	B&G全国サミット
	22日 水	県市町村教育長人事会議
	23日 木	藤原区民・小中学校親睦スキー大会
	24日 金	みなかみ町いじめ防止こども会議
	28日 火	学校警察連絡協議会役員会
	30日 木	花と緑のぐんまづくり推進協議会総会
	31日 金	藤原中学校統合説明会
2月	1日 土	ぐんま教育フェスタ 環境学習発表会
	2日 日	みなかみ町小中学校スキー大会（雪不足のため中止）
	4日 火	中学校統合学校運営部会
	5日 水	新治地区子ども安心安全育成協議会表彰報告
	7日 金	奄美交流歓迎式 奄美交流引率者歓迎会

期 日		行 事 予 定
8日	土	奄美交流（宝台樹スキー場）
10日	月	奄美校長新治小学校視察 奄美交流お別れ式 奄美交流引率者送別会
11日	火	奄美見送り（上毛高原駅）
12日	水	総合戦略みなかみ幸せ創生本部会議 県市町村教育長協議会定例会 中学校統合総務部会
13日	木	第5回地区人事会議
14日	金	教育委員会点検評価書議長報告
18日	火	学警連優良児童生徒表彰式
19日	水	第6回地区人事会議 ヘきセン研究発表会・表彰式・修了式
20日	木	高校総体ポスター表彰式
21日	金	第2回教育委員会訪問 カルチャーセンター運営委員会 社会教育委員会
26日	水	第8回地区人事会議 第2回学校保健委員会
27日	木	学校給食運営委員会 第6回教育委員会
28日	金	三国会運営委員会
3月 2日	月	利根商卒業式
9日	月	新教育委員打合せ
13日	金	年度末人事教育長委員代表合同会議 利根郡町村教育委員会連絡協議会臨時会議
17日	火	中学校統合地域関連部会
18日	水	第7回教育委員会
20日	金	茂左衛門弓道大会(中止)
24日	火	まちひとしごと総合戦略しあわせ創生本部
25日	水	中学生海外派遣推進委員会
26日	木	下田一成氏高齢者叙勲伝達 修了式
31日	火	教職員退職者辞令交付式

4. 教育委員会各事業

学校教育課

施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 19 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 学校教育課 課長 高橋 康之
施策	20	学校教育の充実	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名		対象		意図	
				1	教育水準の向上	町内の児童生徒		確かな学力を身につける。	
				2	教育環境の整備	町内の児童生徒		適切な教育環境で教育が受けられる。	
				3					
				4					

施策の基本方針	・少子化の動向を踏まえ、学校の適正規模を考慮した配置を進めるとともに、地域に根ざした特色ある教育を推進します。 ・学校と家庭、地域との連携により、通学における児童生徒の安全性の向上に努めます。 ・学力や体力の向上を図るとともに、不登校や問題行動、特別な支援を必要とする子どもたちへの取り組みを強化します。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	学力テストの結果(児童/生徒)	%	実績値	82.3/81.3	80.1/80.5	78.8/81.6	75.3/79.3			
				目標値		82.0/82.0	82.0/82.0	82.0/82.0	82.0/82.0	83.0/83.0	83.0/83.0
	B	体力テストの結果(児童/生徒)	ポイント	実績値	50.9/50.8	50.6/49.0	50.4/48.4	54.5/50.4			
				目標値		50.0/50.0	51.0/51.0	51.0/51.0	51.0/51.0	51.0/51.0	51.0/51.0
	C	不登校児童生徒数の割合	%	実績値	1.52	1.51	1.74	1.58			
				目標値		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	D			実績値							
				目標値							
	E			実績値							
				目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	A) 結果が良ければ、高い知性が育まれていると考えられるため成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため信憑性が高い。1学期中に小2～中3までの全員を対象として実施する教研式標準学力検査NRTにおいて、学習到達度5段階中3以上(概ね学習内容を理解している)の児童・生徒が全体に占める割合を百分率で表記したもの。(児童の割合/生徒の割合で表記) B) 結果が良ければ、健康な身体が育まれていると考えられるため、成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため比較がしやすい。全学年を対象に1学期中に実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」のうち、全国の比較対象となっている小5・中2の成績について、全国の標準を50ポイントとした時の比較。 C) 数値が低ければ、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれていると考えられるため成果指標とした。 【児童生徒の問題行動等に関する月例報告書】に基づき【不登校児童生徒の数/児童生徒数】を百分率(小数点第3位を四捨五入)で表記したもの。
-------------------	---

目標値設定の考え方	A) 町費の補助教員や支援員・介助員の拡充、指導主事の設置などを実施しており、現状でも他団体と比較して学力水準が高いことから、成果を今以上に上昇させるためにはより一層の努力を要する。 B) 家で過ごす子どもが多い近年では、体力づくりに関心のある家庭と、そうではない家庭の二極化が進んでいる。学校での取り組みを強化するなど、全体的な体力向上を図り、平均値を上回ることを目指す。スクールバスの利用に伴い、子ども達の体力の低下が懸念される。 C) 不登校児童生徒は、何かしらの支援が必要な子どもである傾向が見られる。分母となる児童生徒数は益々減少傾向にあるが、対象となる児童生徒の割合が増えており、目標達成は非常に難しい状況であると言える。町の適正指導教室や県等の関係機関と連携して、不登校児童生徒数の割合を1%以下とすることを目標とする。
-----------	--

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<家庭・保護者> ・家庭では子どもたちの心身の健康を育み、基本的な生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎を作る。 ・保護者としての自覚を持ち、社会的な義務を果たす。 <地域住民> ・「地域の子どもは地域で育てる」という意識を持ち、子どもたちが安心して活動できる地域づくりを進める。 ・地域の人材として学校現場へ積極的に関わるなど、教育活動へ協力する。	・教育の基本方針を策定する。 ・児童生徒が安心して学習できる安全な環境をつくる。 ・教員の資質の向上を図る。 ・小中学校統合推進計画に基づき、統合中学校の計画的な整備を行う。 ・ユネスコエコパーク登録により、本町の自然や文化など多くの魅力を見つめ直し、持続可能な開発のための教育の学習を図るため、管内小中学校のエネスコスクールへの登録加盟・活動を支援する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	・少子化により、児童・生徒が更に減少することが見込まれ、それに伴い集団学習や集団活動の実施に制約が生じてきている。 ・2018年度より小学校、2019年度より中学校で特別な教科「道徳」が始まり、2020年度に小学校3・4年生は外国語活動、小学校5・6年生では英語が教科化され、時間の確保や指導体制の整備が急務となる。 ・校舎等の老朽化により、修繕、大規模改造等が必要である。 ・地球温暖化による異常気象(高温・集中豪雨)や通学時等の予測不能な事件・事故が多発している。 ・GIGAスクール構想に基づく、WiFiネットワーク環境の整備と1人1台端末の整備が急務となっている。	・不登校の児童生徒数は、子ども達の減少とは対照的に増加傾向にあり、早期対応等の取り組みが求められている。 ・特別支援教育の対象児童生徒は増加しており、意見や要望は多岐にわたっているため、細かな対応が必要とされている。 ・少子化に関連し、部活動等の課外活動も含めた様々な場面において、学校の教育環境整備が求められている。 ・登下校の安全確保、点検、見守りの強化等が求められている。 ・GIGAスクール構想に基づく、1人1台端末などハード面の整備とともに、端末を活用した授業内容の充実や家庭学習への活用などのソフト面の整備について、議会の一般質問などで取り上げられている。

施策	20	学校教育の充実	主管課	名称 学校教育課 課長 高橋 康之
----	----	---------	-----	----------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	☐ かなり向上した。 ☒ どちらかといえば向上した。 ☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	
	② 他団体との比較	☐ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☒ ほぼ同水準である。 ☐ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	
	③ 目標の達成状況	☐ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☒ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	

基本事業の成果指標	基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1	教育水準の向上	A 確かな学力を身につけることができた児童の割合	%	実績値	73.0	91.9	90.4	86.1			
					目標値		73.5	74.0	74.5	75.0	75.5	76.0
			B 授業で学習したことが身についた生徒の割合	%	実績値	80.0	88.6	83.4	85.1			
					目標値		81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0
	2	教育環境の整備	A タブレット型端末機器の環境整備の割合	%	実績値	実績なし	0.0	0.0	0.0			
					目標値		0.0	0.0	10.0	30.0	50.0	70.0
			B 小中学校の洋式トイレの割合	%	実績値	50.9	55.9	59.0	60.0			
					目標値		55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0
	3		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							
	4		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名		今後の課題	今後の取り組み(案)
	1	教育水準の向上	① 早期に適正規模を目的とした環境整備に着手し、公平で効率的な教育環境を整備して教育水準の向上を図る。 ② 学習指導要領の改正に伴い、指導方法など共通理解を浸透し、質の高い教育を提供する必要がある。 ③ きめ細かな教育を実践するため、特別支援教育に携わる補助教員兼支援員・介助員等の人材確保する。 ④ 英語教育の充実を図る。 ⑤ みなかみユネスコエコパークの理解を深める。 ⑥ 体力向上及び肥満対策を検討していく必要がある。 ⑦ 不登校児童・生徒への支援と未然防止対策を講じる必要がある。	① みなかみ町立小中学校統合推進計画に基づき、着実に教育環境整備を行い、学校経営・学習指導の充実を図る。また、統合中学校の令和4年度開校に向けて、環境整備を計画的に進める。 ② 学習指導要領の改訂に際し、関係機関等と連携し授業研究等を行うなど、教員の資質向上に努める。 ③ 教職員等の資格保有者を積極的に活用する。 ④ 英語検定補助を拡充していく。 ⑤ 環境教育の継続拡充を図るとともに、ユネスコスクールの活動を支援していく。 ⑥ 学校へ運動量確保の働きかけを行うとともに、子育て健康課と連携した肥満解消の啓発活動を行っていく。 ⑦ 適応指導教室(リエントリールーム)の活用、スクールカウンセラーの活用、不登校対策委員会における情報の共有化など、学校と家庭と教育委員会の連携を図り、不登校傾向の児童・生徒への早期対応を図っていく。
	2	教育環境の整備	① 登下校時における安全確保は、全国的にも喫緊の課題である。学校や関係機関と連携し、危険箇所の改良や、「地域で児童生徒を見守る」活動について、地域ボランティアと協力して推進していく必要がある。 ② 小中学校のほか給食センターなどの施設・設備が老朽化しており、統合を見据えたうえでの改善が必要となっている。 ③ GIGAスクール構想に基づき、1人1台端末などハード面の整備とともに、端末を活用した授業内容を充実する必要がある。	① 警察署や関係機関等と連携した通学路の安全点検結果に基づく安全確保を行い、併せて、新たな見守り組織の育成を行うなど、地域に協力を求めていく。 ② 統合推進計画や学校施設点検結果に基づき、学校施設や給食センターなど、計画的に整備を行っていく。 ③ デジタル補助教材を導入するとともに、授業内容の充実と学校教職員の負担軽減のためICTサポーターを活用する。

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000001	教育委員会運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	981,259 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	・みなかみ町の教育行政や学校運営をつかさどる行政委員会	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上		教育委員会・教育委員会協議会・総合教育会議開催回数	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業 ～ 年間	会計	1 款 10 項 1 目 1	委員会に現場の声を反映するために、住民の意向を把握することが重要と考える。そのため学校を訪問したり、PTAや学校関係以外の団体等とも意見交換が必要となる。	なし	平成30年度 令和元年度 単位
						7・1・1 7・5・2 回

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000002	事務局一般管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,069,749 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	教育委員会事務局業務を遂行するために必要な経費について、的確に管理し、円滑に業務が行われるようする。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上		決算額	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計	1 款 10 項 1 目 2	課題なし	—	平成30年度 令和元年度 単位
						3,071 3,070 千円

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 29 日更新)

事務事業	000003	小中学校教育研究会(三国会)事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	242,899 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	管内の常勤の教職員を持って組織し、みなかみ町の教育の振興を図るため、研究、調査、講習等に関わる事業を行う。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上		学校数(小・中)	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計	1 款 10 項 1 目 2	多忙化により、活動に費やす時間を確保することが難しくなってきた。	限られた時間の中で有効な研究・調査を継続して実施していく。	平成30年度 令和元年度 単位
						6・4 6・4 校

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000007	学校経営研究・研修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	118,690 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	群馬県小学校長会・群馬県中学校長会・群馬県公立学校教頭会等の市町村負担金	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上		学校数(小・中)	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計	1 款 10 項 1 目 2	課題なし	—	平成30年度 令和元年度 単位
						6・4 6・4 校

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業		000008		学校教育研究・研修事業		① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		415,736 円						
施策体系	施策		20		学校教育の充実		群馬県小学校中学校教育研究会、利根郡へき地教育センター、利根郡小中学校教育研究会等の市町村負担金				一				事業実績							
	基本事業		01		教育水準の向上										②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策			学校数(小・中)	
根拠	無	組織	学校教育		課	学校教育		係	課題なし				一				平成30年度		令和元年度		単位	
事業期間	継続事業		会計		1	款	10	項									1	目	2	6・4		6・4

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業		000009		教育補助員事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		22,014,328 円					
施策体系	施策		20		学校教育の充実		支援が必要な児童生徒に対し、町費負担の補助教員・介助員を配置する。	各学校より提出された要望書により聞き取り調査を行い、必要と判断した学校へ配置を行った。	事業実績								
	基本事業		01		教育水準の向上				補助教員数・介助員数								
根拠		無		組織		学校教育 課		学校教育 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		1 目		2					
H ~ 年間								各学校の状況を的確に把握し、充実した支援ができるよう継続的に配置していく必要がある。		今後も継続的に必要学校数を把握し、配置を行う。 会計年度任用職員へ制度移行した為、報酬等は総務課へ移管		平成30年度		令和元年度		単位	
										7・4		8・4		人			

令和 元 年 8 月 6 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業		000010		外国語指導助手(ALT)事業			① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		22,470,891 円		
施策体系	施策		20		学校教育の充実			児童生徒が外国語や異文化を理解し、外国人と積極的にコミュニケーションを図れるようになることを目的に、4名のALTを配置し、チームティーチングによる英語指導を行う。	ALT生活サポートの委託契約を実施し、生活サポートに係る事務量を軽減した。	事業実績					
	基本事業		01		教育水準の向上					学校訪問回数(平均)・ALT人数					
根拠		無	組織	学校教育 課		学校教育 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	1	目	2	各校の英語担当者とコミュニケーションを深め、教職員と共に活動する意識をもてるようにしていく。また、生活サポート等の事務量が多いことが課題である。		引き続き、生活サポート委託契約を効率的に活用することで、事務負担の軽減を図っていく。	
H ~ 年間												平成30年度	令和元年度	単位	
												小59中 134 4人	小59中 134 4人	回・人	

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000012		適正教育支援事業			① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		1,233,428 円	
施策体系	施策		20		学校教育の充実			教育支援委員会において、幼児・児童・生徒に関する就学先や教育の相談、また、支援や助言を行う。	乳幼児期については保健師と、その後は、こども園、小中学校と連携し、早期より支援の必要な児童生徒を把握し、必要な時に必要な支援を行う。	事業実績				
	基本事業		01		教育水準の向上					教育支援委員会対象者数(新就学児童・就学児童生徒)				
								②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
根拠		有	組織	学校教育 課		学校教育 係		児童生徒の減少に反して、審議の対象者は増加しているため、相談を受けたり検査を行う人材を育成する必要がある。	関係機関とより親密な連携を図り、支援を必要とする児童生徒の援助を行う。	平成30年度		令和元年度		単位
事業期間		継続事業		会計	1	款	10			項	1	目	2	33・153

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 29 日更新)

事務事業		000013		特別支援教育推進事業			① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		285,000 円						
施策体系	施策		20		学校教育の充実			児童生徒に対する特別支援教育の充実を図るため、調査や研究を行うとともに、講演会等を実施する。				講習会、研修会等を開催した。				事業実績							
	基本事業		01		教育水準の向上											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策			
根拠		無		組織		学校教育		課		学校教育		係		早い時期から対象となる園児・児童・生徒を把握し、支援を開始することが望ましいため、関係機関との連携を強化していく必要がある。				関係機関とより連携を図り、支援を必要とする児童生徒の援助を行う。					
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項										1	
H		～		年間														平成30年度		令和元年度		単位	
																		281・1061		294・1013		人	

令和 元 年 8 月 6 日作成 (令和 2 年 6 月 29 日更新)

事務事業		000014		特別支援学級就学援助事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		604,936 円	
施策体系	施策		20		学校教育の充実				特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助する。	—		事業実績			
	基本事業		01		教育水準の向上							受給者数(小学校／中学校)			
										②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
根拠		無 組織		学校教育 課		学校教育 係									
事業期間		継続事業				会計		1 款		10 項		2 目		1	
H ~ 年間														平成30年度 令和元年度 単位	
														小14/中5 小14/中4 人	

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業		000015		文化活動派遣費補助事業			① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費		49,348 円		
施策体系	施策		20		学校教育の充実			音楽祭、コンクール、音楽研究大会、社会科見学等の小中学校における文化活動を対象にバスの借上や移動費補助を行う			課題なし			事業実績			
	基本事業		01		教育水準の向上									補助件数			
根拠		無		組織		学校教育 課		学校教育 係		②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策				
事業期間		継続事業			会計		1 款		10 項		1 目		2		補助制度活用の実績が少ない。		
H ~ 年間															管内の小中学校に周知を継続していく。		
															平成30年度	令和元年度	単位
															3	1	件

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業		000016		運動選手派遣費補助事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		2,048,992 円			
施策体系	施策		20		学校教育の充実		小中学校の運動大会(県大会等)出場に関する派遣費補助を行う。 補助金申請事務、補助金の支払い、大会成績の広報などを行う。	課題なし	事業実績						
	基本事業		01		教育水準の向上				補助件数						
根拠		無	組織	学校教育 課		学校教育 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		平成30年度		令和元年度	単位
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	1	目	2	15		13	件
H		～ 年間						継続							
								出場者の有無、大会会場の遠近、個人・団体などの区分により必要金額が異なるため、余裕を持った予算措置が必要となる。							

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

事務事業	000017	中学生海外派遣事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,608,788 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	本町の中学生を対象に、海外の人々との交流や異文化体験を通じ、グローバル社会で生きる力の育成、友好都市との友好親善、国際理解力を深める。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上	派遣者が行程をスムーズに進められるよう事前学習内容を工夫したり、少しでも充実した行程になるよう見直した。	派遣事業参加生徒	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款	①事前学習会の内容の充実を図り、各学校間の連携を図る。②派遣行程の充実を図る。③派遣者数の増(多くの中学生に海外を体験させる)	多くの生徒が派遣事業に参加できるよう、継続的な見直しが必要。	平成30年度 令和元年度 単位
H ~ 年間			10 項			14(タイ・カンボジア) 25(台南市) 25(台南市)

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000018	奄美大島青少年交流事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,242,219 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	奄美市笠利町の児童とみなみ町町の児童が、夏・冬相互に各々の土地を訪れ、風土の違いを実感しながら交流を図ることで、青少年の健全育成を図る。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	応募者数/参加者の数
根拠	無	組織	生涯学習 課	夏、冬それぞれ5日間の交流会となった。ホストファミリーとの時間も確保しながら奄美の子ども達との交流を関係団体と協力し多く実施した。今年も定員を上回る応募があった。	来年度は20回目の開催となる。奄美市担当と協議して記念事業が開催出来る可能性を検討していきたい。	平成30年度 令和元年度 単位
事業期間	継続事業	会計	1 款	夏、冬とも子ども達が1週間交流事業に関わることが、時間的に難しくなっている。来年度は20周年で事業を拡大するか。		21/17 24/16 人
H ~ 年間			10 項			

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

事務事業	000019	総合的な学習の時間支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	270,340 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	総合的な学習の時間等において、外部講師を依頼した際にかかる保険、及び谷川岳エコツーリズム登山実施に伴う補助を行う。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	児童数・生徒数
根拠	無	組織	学校教育 課	他の事業と合わせて、教員の指導力向上を図ることにより、外部講師の有効活用にもつなげる必要がある。	課題なし	平成30年度 令和元年度 単位
事業期間	継続事業	会計	1 款			672・389 645・368 人
H ~ 年間			10 項			

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000020	自然学習教室補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	20,000 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	子どもたちに自然や環境について体験する機会を提供することを目的として、ぐんま昆虫の森やぐんま天文台に訪れて行う自然学習教室の実施に要する経費の一部に対して補助金を交付する。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	参加学校数
根拠	無	組織	学校教育 課	県補助金額がその年の需要で変動するため、計画的に実施するためには町の加算補助が必要である。	令和元年度で県補助金が廃止。	平成30年度 令和元年度 単位
事業期間	継続事業	会計	1 款			2 2 校
H 30 ~ 年間			10 項			

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000021	尾瀬学校事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	803,460 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	児童生徒が尾瀬での自然体験学習・事前学習を行い、質の高い環境教育を提供する。事業実施小中学校に、事業費(バスの借り上げや現地ガイド料)を県に補助申請し、支払業務を行う。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上	課題なし	参加学校数	
根拠	無	組織	学校教育 課	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 1 目 2	小中学生か中学生の間に必ず1回実施することになっているので、統合に向け、実施時期の調整が必要となっている。	課題なし	
	H 30 ~ 年間				平成30年度	令和元年度
					5	4
					単位	校

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

事務事業	000022	卒業記念品事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	128,500 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	毎年小・中学校の卒業生に卒業記念品として卒業証書を入れるホルダーを贈呈する。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上	課題なし	卒業記念品数	
根拠	無	組織	学校教育 課	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 1 目 2	課題なし	同様に継続	
	H ~ 年間				平成30年度	令和元年度
					283	257
					単位	冊

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000023	家庭教育支援事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	120,385 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	小学校に入学する前の就学時健診時と中学校に入学する前の移行学級を活用し、保護者を対象に「子育て講座」を実施し、子育てを行う保護者へ子育てに関する啓発を促す。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上	日程調整や講演内容を講師と確認しながらスムーズにしっかりと協議する。	講座開催数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 5 目 1	学校行事の「就学時健診」や「知能検査」との日程調整や、小中学校入学前の児童の保護者のニーズに応えた講師の選定が課題である。	参加者へのアンケート調査や学校側の意向等を確認しニーズを把握する。	
	H ~ 年間				平成30年度	令和元年度
					9	8
					単位	回

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000024	高等学校総務費負担事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	23,200 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	定時制教育への市町村負担金。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上	課題なし	沼田高校定時制生徒数	
根拠	無	組織	学校教育 課	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 4 目 1	課題なし	平成30年度	令和元年度
	H ~ 年間				14	14
					単位	人

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000026	教職員労働安全衛生管理事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,774 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	毎月、教職員時間外勤務状況を把握し医師の面接指導の体制を整備したが、面接指導該当者がいなかったため、利用実績なし。ストレスチェック事業は150人実施。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上		面接指導／ストレスチェックの受検者数	
根拠	無	組織	学校教育 課	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 1 目 2	根本的な問題である教職員の多忙化を解消できるよう、業務の削減や見直しを行う必要がある。	学校に対する依頼事項等を整理し削減、見直しを図る。毎月、在校等時間記録表を提出してもらい勤務時間の把握を行い県と連携を図る。	平成30年度 令和元年度 単位
	H 30 ~ 年間					149 150 人

令和 元 年 8 月 6 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務事業	000027	英語検定料補助事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	207,550 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	実用英語技能検定の検定料を補助することで、児童生徒の英語力及び英語学習意欲の向上を図る。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上		補助金申請者数・合格者数	
根拠	無	組織	学校教育 課	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 1 目 2	課題なし	令和元年度に制度化されたばかりの事業であり、現状のまま継続する。	平成30年度 令和元年度 単位
	H ~ 年間					0 124 人

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 4 日更新)

事務事業	000028	ユネスコエコスクール活動推進事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	55,041 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	町がユネスコエコパークの登録されたことに伴い、町内の学校がユネスコスクールの登録をすることで、学校と町の相乗効果を図る。	事業実績	
	基本事業	01	教育水準の向上		認定学校数	
根拠	無	組織	学校教育 課	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間	期間限定	会計	1 款 10 項 1 目 2	ユネスコスクールに認定された場合のメリットの少なさ。	ユネスコ側のシステムの不備により、前年度の入力が出来ておらず、最終認定されないため、引き続き確認を行う。	平成30年度 令和元年度 単位
	H 29 ~ 年間					0 0 校

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

事務事業	000001	小学校運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	62,050,706 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	各学校から予算ヒアリングを行い、公平性を確保しつつ、経費削減を行った。	事業実績	
	基本事業	02	教育環境の整備		学校数	
根拠	無	組織	学校教育 課	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 2 目 2	各校への予算の公平性確保。	学校統合を見据えながら、引き続き適正な予算措置が必要	平成30年度 令和元年度 単位
	H ~ 年間					6 6 校

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

事務事業	000002	中学校運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	37,381,483 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	各学校から予算ヒアリングを行い、公平性を確保しつつ、経費削減を行った。	事業実績	
	基本事業	02	教育環境の整備		学校数	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 2 目 3	各学校への予算の公平性確保。	学校統合を見据えながら、引き続き適正な予算措置が必要	平成30年度 令和元年度 単位
H ~ 年間						4 4 校

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000003	月夜野給食センター管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	134,029,019 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	小中学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて食育の推進を図る。	事業実績	
	基本事業	02	教育環境の整備		1日あたり調理食数	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 7 目 1	調理機器の老朽化に伴い故障・修理が増えている。(平成16年移設稼働)	定期点検結果を基に厨房機器や配送車、施設等の状況把握・修理を計画的に進める。	平成30年度 令和元年度 単位
H ~ 年間						913 883 食

令和 元 年 8 月 9 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000004	新治給食センター管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	63,747,269 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	小中学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて食育の推進を図る。	事業実績	
	基本事業	02	教育環境の整備		1日あたり調理食数	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 7 目 1	調理機器・施設の老朽化(平成15年施設稼働時より使用している調理機器が耐用年数を過ぎ、故障修理が増えている。)	厨房設備及び建築設備の点検を定期的に行い、十分な給食が提供できるよう維持管理計画を作成する。	平成30年度 令和元年度 単位
H ~ 年間						408 381 食

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000005	小・中学校IT環境整備事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,454,800 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	館内小・中学校10校の情報環境整備をおこない、パソコン教室や普通教室に安全で快適なインターネット環境を実現する。また、授業準備に必要な職員用パソコンの整備を行う。	事業実績	
	基本事業	02	教育環境の整備		PC台数(児童生徒用・教職員用)	
根拠	有	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 2 目 1	文部科学省の指針に基づき、各教室でタブレット端末を活用できるように、平成32年度までに無線LAN環境を整備する必要がある。	校務用端末の更新、児童生徒1人1台端末整備	平成30年度 令和元年度 単位
H ~ 年間						347・204 304・247 台

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 4 日更新)

事務事業	000006	藤原小中学校教職員住宅管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	478,968 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	へき地の学校に赴任する教職員の通勤負担を解消するため、入居希望教職員の入退去の管理及び住宅施設の維持管理を行う。	現況としては特になし	事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備			入居者数	
根拠	無	組織	学校教育 課	教育環境対策 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
	H 30 ~ 年間					
					経過年数により、老朽化が進んでいる。屋根の塗装が劣化しているため、数年後には塗り替えが必要となる可能性あり。	塗り替えを行うか、他の目的に転用するか判断し、そのための資料を準備する。
					平成30年度	令和元年度
					4	3
					単位	人

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000007	小・中学校施設維持管理事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,913,374 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	学校では対応が出来ない老朽、破損等に伴う修繕を事務局が主体となって行う。基準として請書、契約書が必要となる高額な修繕を行う。	突発的な修繕が多いため、直営作業等で対応する仕組みづくり。	事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備			全体の修繕等件数	
根拠	無	組織	学校教育 課	学校教育 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
	H ~ 年間					
					今後、施設が老朽化していくに修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。	軽微な修繕は直営等で対応する。
					平成30年度	令和元年度
					38	44
					単位	件

令和 元 年 8 月 6 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000008	要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,012,885 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	経済的な理由によって就学が困難な児童生徒について、学用品費・給食費など学校にかかる費用の一部を援助する。	課題なし	事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備			受給者数(小学校/中学校)	
根拠	有	組織	学校教育 課	学校教育 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	2 目	1
	H ~ 年間					
					審査方法や支払時期について検討が必要である。	新入学学用品費の入学前支給を継続して行う。
					平成30年度	令和元年度
					小16/中18	小22/中12
					単位	人

令和 元 年 8 月 6 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000009	地域学校保健委員会事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	98,701 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	児童生徒の体と心がバランスよく成長していくために、学校と家庭、地域の役割と連携の在り方を探る。そのため、各学校の養護教諭等を中心に、研修や情報交換を行う町学校保健委員会を設置する。	—	事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備			児童数・生徒数	
根拠	無	組織	学校教育 課	学校教育 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
	H ~ 年間					
					課題なし	—
					平成30年度	令和元年度
					672・389	645・368
					単位	人

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 6 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000010	児童生徒災害共済保険加入事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	939,835 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	学校の管理下における児童生徒等の災害共済給付を行う。	事業実績	
	基本事業	02	教育環境の整備		給付件数(小学生/中学生)	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 2 目 1	課題なし		平成30年度 令和元年度 単位
	H ~ 年間					小24/中 42 小35/中 38 件

令和 元 年 8 月 6 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000011	児童生徒等健康保持増進事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,416,202 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康診断を行い、心身の健康保持増進を図る。	事業実績	
	基本事業	02	教育環境の整備		受診児童生徒数・受診教職員数	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 1 目 2	課題なし		平成30年度 令和元年度 単位
	H ~ 年間					1058・39 1008・44 人

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 29 日更新)

事務事業	000012	児童生徒非行防止・健全育成事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	28,500 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	利根沼田地区学校警察連絡協議会の市町村負担金。	事業実績	
	基本事業	02	教育環境の整備		児童数・生徒数	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 1 目 2	課題なし		平成30年度 令和元年度 単位
	H ~ 年間					672・389 645・368 人

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000013	有害サイトアクセス制限事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	777,600 円
施策体系	施策	20	学校教育の充実	小中学校の児童生徒が使用しているインターネット環境において、不適切な情報にアクセスできないよう監視やアクセス制限をする。	事業実績	
	基本事業	02	教育環境の整備		不適切なホームページにアクセスした回数(報告数)	
根拠	無	組織	学校教育 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	
事業期間	継続事業	会計	1 款 10 項 1 目 2	現状どおり、有害情報へのアクセス制限は必要である。費用の圧縮が可能か検討する。	なし	平成30年度 令和元年度 単位
	H ~ 年間					0 0 回

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000014		遠距離通学費助成事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		3,263,100 円			
施策体系	施策		20		学校教育の充実				遠距離通学する児童・生徒の保護者の負担を軽減するために、通学費の全部又は一部を補助する。(居住地⇄学校、小学生は4キロ以上、中学生は6キロ以上が対象)				藤原区、鹿野沢区に路線バスの変更でスクールバスが運行され、対象者が減少となる。				事業実績				
	基本事業		02		教育環境の整備												遠距離通学児童・生徒数				
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠		無		組織		学校教育 課		学校教育 係		今後スクールバス運行、路線バスの問題等の体制が整えば事業の見直しを検討できる。財政上の問題や地域性もありすぐには解決できない。				継続							
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項										1 目		2	
H ~ 年間																平成30年度		令和元年度		単位	
																52		33		人	

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000015		スクールバス管理運営事業			① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費		57,359,888 円				
施策体系	施策		20		学校教育の充実			主にみなかみ町の小中学校の児童・生徒の通学に利用するバスの運転業務を効果的に運営する。			なし			事業実績					
	基本事業		02		教育環境の整備									バス利用者数					
							②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策									
根拠		無		組織		学校教育 課		学校教育 係		受託者の業務精度の向上及び同業他社との競争を取り入れる。また担当職員の指導の厳格化と業務効率の新たな手段等の可能性の追求をしていく。			平成30年度			令和元年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項					1 目		249		251		人
H ~ 年間										引き続き、業務効率の新たな手段等を追求していく。									

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000016		スクールバス整備事業			① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費		3,608,140 円				
施策体系	施策		20		学校教育の充実			耐用年数を経過し、老朽化したスクールバスを更新整備し、児童・生徒の登下校の安全確保を図る。			なし			事業実績					
	基本事業		02		教育環境の整備									バス整備(更新)台数					
									②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策							
根拠		有		組織		学校教育 課		学校教育 係		補助事業を活用し購入したバスについては、処分制限期間(6年)の目的外利用が出来ないため、経路変更等は文部科学省への届出が必要となる。			スクールバスについて、計画的に更新していく。経路等については、必要に応じて協議していく。						
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		1 目		2		平成30年度		令和元年度		単位	
H ~ 年間														0		1		台	

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業		000017		地域子ども安心安全・育成協議会活動支援事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		316,800 円									
施策体系	施策		20		学校教育の充実				児童生徒の安全安心な通学を維持するため、地域全体で協力して見守る活動を行う。	通学路マップ、年間・月間行事予定表などを地域に配布するなど安心安全な通学を確保するため、協議会で検討を継続する。防犯ブザー・熊よけの鈴の配布。	事業実績												
	基本事業		02		教育環境の整備						見守り員、ボランティア人数 ・110番の家												
根拠		無		組織		学校教育 課		学校教育 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策											
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		1 目		2		全国的に登下校時に犯罪等被害にあうケースが多い。地域ごとに取り組みに差があり、各学校及び各地域で一定以上の見守り体制等を構築できていない。		協力できる人から、少しずつお願いするなど学校や地域との連携を図る。		平成30年度		令和元年度		単位	
H ~ 年間														49・76		49・76		人					

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000019		利根沼田学校組合(利根商)運営費負担事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,510,000 円									
施策体系	施策		20		学校教育の充実				利根沼田学校組合立利根商業高等学校運営費負担金				—				事業実績										
	基本事業		02		教育環境の整備												みなかみ町在住生徒数										
根拠		無		組織		学校教育		課		学校教育		係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		4		目		1		課題なし				—			
H		~		年間																平成30年度		令和元年度		単位			
																				149		151		人			

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業		000022		小・中学校施設設備の整備充実事業			① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費		3,566,900 円	
施策体系	施策		20		学校教育の充実			当事業は破損・劣化箇所を修繕し、児童・生徒・教職員が安全に利用できる施設とするものである。前年度中に把握できる比較的中規模以上の工事等を行う事業である。	桃野小校庭フェンスの改修 藤原中プール塗装 藤原小中放送機器入替	事業実績						
	基本事業		02		教育環境の整備					学校の学習環境維持改善のための工事等件数						
根拠		有	組織	学校教育 課		学校教育 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策						
事業期間		継続事業		会計	1 款	10 項	1 目	2	管内小・中学校施設において破損・劣化・消耗等により修繕が必要な箇所が多い。今後、施設が老朽化していくに従い修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。		新治小防球ネット改善		平成30年度	令和元年度	単位	
H ~ 年間													4	3	件	

令和 元 年 7 月 30 日作成 (令和 2 年 6 月 4 日更新)

事務事業		000023		利根沼田学校組合(利根商)地方交付税交付事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		392,126,000 円	
施策体系	施策		20		学校教育の充実				利根沼田学校組合がある本町が、高等学校費算入分の全額を普通交付税として歳入し、負担金として支出する。H28年度より特別交付税(寄宿舎、非常勤職員公務災害)分追加。	-	事業実績				
	基本事業		02		教育環境の整備						普通交付税交付額 特別交付税交付額				
根拠		有	組織	総合戦略		課	財政・契約		係	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	4	目	1	課題なし		-	
H - ~ 年間												平成30年度	令和元年度	単位	
												359,461 29,271	360,133 31,993	千円	

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業		000024		利根沼田学校組合(利根商)教育施設整備補助事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		98,591,000 円	
施策体系	施策		20		学校教育の充実				利根商業高等学校の施設整備(校舎等LED灯設置工事、及び体育館等屋根改修工事)に対する補助金。	—		事業実績			
	基本事業		02		教育環境の整備							整備施設数			
根拠		無		組織		学校教育 課		学校教育 係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		4 目		1		課題なし	
H 28 ~ 年間														—	
														平成30年度 令和元年度 単位	
														2 5 施設	

20_学校教育の充実

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000026	冷房設備対応臨時特例交付金事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	236,587,800 円
施策	20	学校教育の充実	公立小中学校普通教室等への空調設備設置工事	学校の授業に支障となる猛暑を凌ぐべく、冷房設備(空調設備)を整備した。	事業実績	
基本事業	02	教育環境の整備	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度夏季に空調を稼働した学校数	
根拠	有	組織	学校教育 課	学校教育 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	新規事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
	H 30 ~ 年間				0	10 校

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000027	校務支援システム導入・運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,835,881 円
施策	20	学校教育の充実	学校事務等にかかる校務のシステム化を図る事業。統合型校務支援システムの導入により、教員の事務負担の軽減等によって教育の充実を図る。	学校の業務改善、教員の多忙化解消等のため、導入費用を縮減するよう利根郡1町3村で統合型校務支援システムを導入した。	事業実績	
基本事業	02	教育環境の整備	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	教員の平均勤務時間数	
根拠	無	組織	学校教育 課	学校教育 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	新規事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
	H 31 ~ 年間				0	指標なし 時間

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000028	小中学校統合推進事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	122,861 円
施策	20	学校教育の充実	令和4年度、中学校統合に伴う、中学校の施設整備、改修及びスクールバスの購入を行う。	中学校統合推進に向け、統合準備委員会及び部会を開催し、統合に向けた施設・環境整備について検討を重ねた。	事業実績	
基本事業	02	教育環境の整備	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	下記の開催回数 統合準備委員会／部会	
根拠	無	組織	学校教育 課	教育環境対策 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	期間限定	会計	1 款	10 項	1 目	2
	~ 年間				0	2/16 回

生涯學習課

施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 15 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	生涯学習課
施策	21	生涯学習の推進	関係課	課長	河合 博市

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町民	生涯を通じて自主的に学習する。	基本事業	1 学習意欲の高揚	町民	生涯学習への意欲や関心が高まる。
			2 学習機会の充実	町民	学びの機会を得られる。
			3 学習環境の整備	町民	学びの場を得られる。
			4		

施策の基本方針	・情報発信媒体を活用し、学習の情報等を発信することで、学びの楽しさや必要性を啓発し、生涯学習への意欲や関心を高めます。 ・多様な学習ニーズを的確に捉えた学習機会を提供し、文化協会をはじめとする自主学習グループの活動支援を推進します。 ・公民館(図書室含む)やカルチャーセンターは、学びの拠点施設として生涯学習の推進において重要な役割を担っています。施設の整備や機能の充実を図り、町民誰もが生涯にわたって学習活動が行える環境整備に努めます。
---------	---

成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
A 日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合	%	実績値	25.4	28.7	32.7	28.8			
		目標値		25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
B 公民館利用者数(行政利用を除く)	人	実績値	10,013	8,300	10,456	10,573			
		目標値		9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
C		実績値							
		目標値							
D		実績値							
		目標値							
E		実績値							
		目標値							

指標設定の考え方	A)直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」「週に1回程度」「月に1回程度」「年に数回程度」と回答した人の割合 B)公民館は学習活動の拠点施設と位置付けられており、その利用者は自らの教養を高めるために学習活動を行っている人達と考え、成果指標とした。中央公民館・永上公民館・新治公民館(B&G海洋センター会議室含む)の図書室利用者数と行政利用者数を除いた町内利用者数とする。主管課で実数を把握。
----------	--

目標値設定の考え方	A)町民アンケートの結果から、生涯学習活動を行っている町民の割合は、20歳から49歳までの世代が低く、50歳以上は高いことが分かります。この低い世代の関心を引き出す的確な施策の展開と、今後さらに増加する高齢者の学習意欲を保つことで、2017年度の数値 25.0%(町民の4人に1人)から毎年1%の増加を図り、最終年には30%(3人に1人)に近づけることを目指します。 B)公民館は生涯学習を進める拠点施設として重要な役割を担っています。生涯学習に取り組む町民が増えれば、施設の利用者も増加するものと考えます。人口は毎年2%の減少が見込まれておりますが、今後更に増加が見込まれる高齢者向けの講座開催や多様化する学習ニーズに応える既存講座の充実と、施設の利便性を図ることで、現状利用者数の維持を目指します。
-----------	---

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ・地域社会の環境向上や自己啓発につながる取り組みに積極的に関わり、生きがいとなるような活動を行う。 ・学ぶことの楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ・指導者となり、さらには後継者を育成する。 2. 行政(町、県、国)の役割 ・学びのきっかけとして、気軽に参加できる学習機会を提供する。 ・生涯学習施設の計画的な整備と管理運営を行い、安全で利用しやすい環境を提供する。 ・生涯学習活動を行う人・団体の支援を行う。
---------------	---

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? ・県内35市町村のうち図書館の未設置自治体は、みなかみ町を含め12町村である。生涯学習活動を推進するうえで、図書環境の整備が必要となる。 ・高齢者の利用が増加するため、既存施設のバリアフリー化等、利便性の向上が必要となる。 ・文化協会では活動している団体の高齢化が進み、存続が危ぶまれる。 ・町民の学びに対する要求は、多種多様化し、町民のニーズを的確に把握しより充実した学習内容と学習機会の提供が求められる。 ・幅広い年齢の町民が経験や知識を活かし、生涯を通して学びの実践ができるよう、学習環境の整備・充実が必要となる。 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ・施設によっては利用者(特に障害者や高齢者)に不便であったり、利用できない施設もあり、バリアフリー化が望まれている。施設利用の解消策として、1階で学習できる場を確保し、提供をして欲しい。 ・自発的学習の拠点となるような図書施設の機能充実・利便性の向上が求められている。(図書システムの構築等) ・公民館の老朽化により、雨漏り等施設使用に支障を来している箇所の整備や洋式トイレの設置が求められている。 ・生涯学習フェスティバルで、生涯学習活動のPRや会員募集のため生涯学習活動についての展示やフロッパー発表を検討して欲しい。 ・支所公民館や遊休施設の有効利用を図って欲しい。
-----------	--

施策	21	生涯学習の推進	主管課	名称 生涯学習課 課長 河合 博市
----	----	---------	-----	----------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☒ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①「日頃から生涯学習を行っている町民の割合」を年度比較すると、平成29年度 28.7%、平成30年度 32.7%、令和元年度は28.8%、となっていたが、数値の減少については新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため利用中止が要因。年代別の比較でもほぼ全ての年代で前年度を下回っているのは、上記要因のため生涯学習フェスティバルや生涯学習講座等の中止と考えられる。 ②公民館の利用者数は、平成30年度 10,456人、令和元年度10,573人で少し増加した。
		☐ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☐ ほぼ同水準である。 ☒ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①令和元年度の郡内公民館同等施設(公民館が無く文化会館)の利用者数を比較すると 町村名 利用者数 人口に対する利用率 みなかみ町 10,573人 57% 昭和村 6,419人 86%(公民館・多目的ホール以外の人数) 川場村 2,404人 74%(文化会館・ホール以外の人数) *片品村については数値が不明 ②生涯学習を行う上で、図書資料の充実は大きな比重を占めていると思われる。 県内で図書館の無い自治体は、35市町村の内みなかみ町を含め12町村である。図書室の1人当たりの蔵書冊数は、みなかみ町 3.6冊、昭和村 2.4冊、川場村 4.0冊、片品村 1.9冊で、郡内では若干高い位置にある。 *令和元年度図書館未設置町村公民館図書室の概況より
		☐ 目標値を大きく上回った。 ☒ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☐ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合 アンケートの数値は、目標値27.0%に対し実績値28.8%で目標を上回った。ただし、生涯学習は多種多様であり、個人の意識にも違いがある。学習を行っていると思えていない人、あくまでも趣味として楽しんでいる人など様々であり、アンケートだけでは捉えられない部分もあると思われる。 ②公民館利用者数 今年度は目標値9,600人に対し実績値10,573人で目標を上回った。 各施設は、サークルの学習活動やキッズセンター、青少年の体験活動等の機会提供や居場所づくりに利用されている。公民館別で比較すると利用状況に大きな差があり、特に水上・新治公民館の利用は主に会議が目的使用であり、講座や教室等の活用が少ない状況である。

基本事業の成果指標	基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	1	学習意欲の高揚	A	生涯学習フェスティバル参加者数	人	実績値	200	300	420	0			
					目標値		300	350	400	440	480	500	
			B			実績値							
					目標値								
	2	学習機会の充実	A	生涯学習を推進するための講座・教室等の開設数	件	実績値	8	9	7	3			
					目標値		9	9	10	11	12	13	
			B			実績値							
					目標値								
	3	学習環境の整備	A	図書室利用者数	人	実績値	5,707	8,613	10,256	10,258			
				目標値		5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400		
		B	カルチャーセンター利用者数(全体/町民)	人	実績値	20,180/10,473	21,379/15,501	18,425/14,717	16,607/14,028				
				目標値		20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000		
4		A			実績値								
				目標値									
		B			実績値								
				目標値									

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名		今後の課題	今後の取り組み(案)
	1	学習意欲の高揚	①生涯学習に対して、意欲や関心のない町民へのきっかけ提供や意識付けが重要である。 ②各種広報媒体を活用し、町民が必要とする生涯学習の情報提供や啓発が必要である。	①生涯学習の楽しさや必要性の啓発、公民館等においてアンケートなどを行い、生涯学習フェスティバル等の内容を検討し、さらなる充実を図る。 ②学びの情報発信媒体として「生涯学習だより」・「カルチャーセンターだより」の紙面充実を図る。
			①町民の多様化するニーズに応えるため生涯学習講座・文化教養講座など、学びの機会を増やす必要がある。 ②自主的な学習活動を行う団体を支援し、指導者の育成を図る必要がある。 ③学習機会の受け皿として、文化協会は重要である。しかし、加盟団体の中には、協会員の高齢化による会の先細りなど継続が困難な団体が生じてきており、効果的な活動支援を図る必要がある。	①多様なニーズに対応した講座や教室を企画・開催し、より多くの町民に学びの機会を提供する。 ②地域の人材を発掘し、指導者としての活用を進め、地域に根ざした学びの事業展開を進める。 ③カルチャーセンターで開催する町の自主事業を充実させるとともに、各団体と連携した文化振興を図る。 ④文化振興補助金の活用を継続して促し、金銭的な面から活動支援を行う。 ⑤若い世代に文化団体の活動を周知し、加入に繋げる。
			①公民館・カルチャーセンターは地域の学習拠点として中心的な施設であり、環境整備が必要である。 ②文化振興の中心施設として、カルチャーセンターの利用を安定させ、利用者の要求に合った環境整備を進める必要がある。 ③図書の管理と貸し出しの効率化。	①今年度、中央公民館にエレベーターの設置工事を行い、施設の利便性に配慮した学習環境の整備を進める。 ②カルチャーセンターの管理・運営の充実を図る為、施設の運営を指定管理に変更する。 ③図書利用のシステムの更新及び導入を検討する。
	3	学習環境の整備		

21_生涯学習の推進

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000001	社会教育委員事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	366,421 円
施策	施策	21	生涯学習の推進	町の社会教育環境を検討、向上を目的として活動する社会教育委員の支援を行う。	事業実績	
基本事業	01	学習意欲の高揚	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	会議回数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業 ～ 年間	会計	1 款	10 項	5 目	1
					6	7
					回	

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000002	婦人会活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,284,000 円
施策	施策	21	生涯学習の推進	婦人の地位向上に努め、豊かな人間性を培い、明るい町づくりに貢献することを目的に、下記の事業を実施する。 ・教養を高め人間性を豊かにする事業・学校・家庭・地域社会への協力事業・健康づくり、婦人スポーツの振興事業・会員相互の親睦を深める事業・総会・定例会	事業実績	
基本事業	02	学習機会の充実	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	会員数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計	1 款	10 項	5 目	1
					157	145
					人	

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000003	おもしろ科学教室事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	9,000 円
施策	施策	21	生涯学習の推進	子どもたちの「科学する心」を育むとともに、青少年の学校外活動の充実を図るため、科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を実施する。	事業実績	
基本事業	02	学習機会の充実	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	実施回数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計	1 款	10 項	5 目	1
					2	2
					回	

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000004	文化振興事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,092,375 円
施策	施策	21	生涯学習の推進	文化・社会教育の振興を図るため予算の範囲内で活動団体に対して補助金を交付し支援する。社会教育委員で構成する審査会で交付の審査を実施する。文化協会活動支援事業と統合。	事業実績	
基本事業	02	学習機会の充実	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	交付件数	
根拠	有	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計	1 款	10 項	5 目	1
					8	9
					件	

21_生涯学習の推進

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000005	生涯学習フェスティバル事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	207,090 円
施策体系	施策	21 生涯学習の推進	生涯学習に関連する気運向上を図り、関連団体の交流を促進する。	企画立案から運営に至るまで、中心となって関わることで、多種多様な団体の選考ができた。元年度は台風の為、中止になった。	事業実績	
	基本事業	02 学習機会の充実			協力者数・参加者数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	1
	H ~ 年間					
					120・420	0 人

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 19 日更新)

事務事業	000006	生涯学習講座事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	40,332 円
施策体系	施策	21 生涯学習の推進	住民の生涯学習活動の入り口としての講座を開設する。	講座参加者のアンケートを毎回実施することでニーズを把握し、現状に照らした内容によって判断している。	事業実績	
	基本事業	02 学習機会の充実			講座回数・出席者数(延べ)	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	1
	H ~ 年間					
					3・56	3・38 人

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000008	成人式事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	681,089 円
施策体系	施策	21 生涯学習の推進	新成人の門出を祝福するため成人式を開催する。	資生堂SABFA校長原田忠先生によるご自身の貴重な体験談と新成人へのエールを盛り込んだ講演を行った。	事業実績	
	基本事業	02 学習機会の充実			参加者数・新成人数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	1
	H ~ 年間					
					169・217	165・204 人

令和 元 年 8 月 17 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000009	カルチャーセンター文化振興事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	528,477 円
施策体系	施策	21 生涯学習の推進	アンケートなどにより町民の興味をひく事業を調査し、それを参考に自主事業として開催。生涯学習の推進・文化振興を図る。	今年度は、みなかみ町合唱祭については第5回を実施し、参加者は例年どおりだった。また、演劇上演会に変わって子ども向けの映画上映会を実施し、参加人数は175名と少なめだったが、小学生を中心に楽しんでもらった。	事業実績	
	基本事業	02 学習機会の充実			振興事業実施回数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3
	H 28 ~ 年間					
					2	2 回

21_生涯学習の推進

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業		000010		若山牧水顕彰事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		800,000 円									
施策体系	施策		21		生涯学習の推進				前年度のプレイベントである県大会を経て、今年度は顕彰全国大会を開催する。				事業を継続できるように報償費を減額するなど経費を削減した。				事業実績										
	基本事業		02		学習機会の充実												一般の部作品応募者数										
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5		目		1		本事業を一過性のものとするのではなく、来年度以降も継続していけるようにする必要がある、				町民による参加者を増やす。予算を緊縮しても継続できよう大会の内容にしていける。			
H 28 ~ 年間																				平成30年度		令和元年度		単位			
																				302		240		人			

令和 元 年 8 月 3 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000001		利根沼田文化会館運営費負担事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		41,970,000 円											
施策体系	施策		21		生涯学習の推進				利根沼田地域の福祉の増進と文化の発展に寄与するため利根沼田広域市町村圏進行整備組合で設置した文化会館の維持管理に要する費用を圏域市町村で負担するもの。				施設や視聴覚ライブイブラリーを大いに活用してもらえるように周知した。				事業実績												
	基本事業		03		学習環境の整備												施設利用者数												
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策															
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習				建設当時と39年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのが検証すべき。				今後の利用促進に協力する。				平成30年度		令和元年度		単位			
事業期間		H		～		年間		会計		1		款										10		項		5		目	

令和 元 年 8 月 2 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000003		中央公民館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		3,522,877 円			
施策体系	施策		21		生涯学習の推進				中央公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。社会教育委員会を含めた町内の様々な社会教育団体の事務局が置かれ、それぞれの事務を行う。				施設の改修修繕 玄関・ピロティのLED照明器具交換工事				事業実績				
	基本事業		03		学習環境の整備												公民館利用者数				
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		他市町村の公民館利用状況を参考に にして、利用料、受付方法等を検討 していく。また、施設の老朽化によ り、修繕箇所が増加してきている。				施設の経年劣化により、修繕必 要箇所が発生すると推測される ので、予算等支障のない範囲で 検討・実行していく。			
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目		2		平成30年度		令和元年度		単位			
H ~ 年間														14,771		8,975		人			

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000004		水上公民館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		4,080,655 円			
施策体系	施策		21		生涯学習の推進				主に水上地区内の社会教育団体が社会教育活動を実施している水上公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。その他、一般町民が様々な会合を実施するために施設を利用する際に便宜を図る。				施設の改修修繕 キュービクル塗装工事 高圧ケーブル修繕工事 LBS修繕工事 ELB修繕工事 消火栓ポンプ修繕工事				事業実績				
	基本事業		03		学習環境の整備												公民館利用者数				
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		施設の老朽化が目立ってきている。緊急避難場所に指定されていることもあり、安全性の確保からも大規模な改修が必要である。				利用者の安全面等を考慮し、緊急性の高い修繕箇所については迅速な対応が必要となるので随時検討していく			
事業期間		継続事業		H ~ 年間		会計		1 款		10 項		5 目		2		平成30年度		令和元年度		単位	
																7,507		7,117		人	

21_生涯学習の推進

令和 元 年 8 月 17 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業		000006		カルチャーセンター管理運営事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		13,387,915 円														
施策体系	施策		21		生涯学習の推進					センターの施設・設備及び児童図書室の環境を整備し、文化活動・鑑賞等の場や機会の提供及び情報の発信等の各種サービスを行うことによって、芸術文化に親しんでもらうとともに、生涯学習の推進に取り組む。				今年度は、住民のサービスの向上や経費の削減等を目的に指定管理者の募集を実施した。残念ながら期間内に応募者がいなかった。				事業実績		施設の利用者数 ・施設の利用回数 (全施設利用団体の累計)													
	基本事業		03		学習環境の整備																												
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策															
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5		目		3		調光や音響の操作技術は事務職では難しい場面もあるので、専門スタッフも視野に検討する。図書関係では、現在のシステムが平成32年末に終了するので、余裕を持って平成31年度末までには新システムに移行したい。				今年度は指定管理者の募集者がいなかったが、指定管理料等を再検討し令和2年度も募集をかけたい。				平成30年度		令和元年度		単位	
H		～		年間																18,425・674		16,807・676		人・回									

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000007		水上中部コミュニティセンター管理事業			① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費		244,934 円				
施策体系	施策		21		生涯学習の推進			水上中部コミュニティセンターの管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。			施設の各種点検			事業実績					
	基本事業		03		学習環境の整備									利用者数					
									②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策							
根拠		無		組織		生涯学習 課		生涯学習 係		施設は緊急避難場所になっているため、施設の老朽化に注意が必要である。			平成30年度			令和元年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項					5 目		3		1,030		843

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000008		図書室運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,443,377 円									
施策体系	施策		21		生涯学習の推進				資料の購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行い、市民が教養及び知識を習得したり、生活に役立つ情報を得るための支援をする。又、子どもから高齢者まで幅広く利用できる環境のもとに、読書推進及び生涯学習活動の円滑化を図る。県図書館協会が主催する研修への参加及び県内の公共図書館との連携により、図書室活動の向上を図ると共に、相互貸借制度を活用して、利用者の要求に応じた資料提供を円滑に行う。				利用者の要望に沿った新刊書、読み継がれている児童書及び視聴覚資料(DVD・CD)等を購入した。県図書館協会参加館との相互貸借事業を活用して、リクエストに対応した。				事業実績										
	基本事業		03		学習環境の整備												図書室利用者数										
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5		目		5		緊縮財政下における効率性の且つ効果的な図書室運営を目指していく。老朽化した施設の改善及び電算システムの導入等により利便性を図る。又、教育文化施設の中核を担うためにも、適正な予算及び人員の確保が必要である。				当面は既存の施設の運営改善及び充実に努め、住民ニーズに応えていく。施設の改善(書架の更新及び増加、学習スペースの確保等)等、財政面と調整を図りながら環境整備を進める。			
H		～		年間																平成30年度		令和元年度		単位			
																				7,669		7,236		人			

令和 元 年 11 月 1 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業			000013		中央公民館改修事業			① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費		0 円			
施策体系	施策		21		生涯学習の推進			中央公民館にエレベーターを設置することにより高齢者や障害者等の利便性の向上を図る。			エレベーター等及び多目的トイレを新設する。			事業実績					
	基本事業		03		学習環境の整備									発注件数					
								②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策								
根拠	無	組織	生涯学習		課	生涯学習			係	中央公民館は大小会議室、研修室が3階、図書室が2階にあるため高齢者や障害者等の利用に支障を来している。			昭和58年度に新築された建物のため、冷暖房施設等が老朽化しているため早急に改修が必要となっている。			平成30年度		令和元年度	単位
事業期間	期間限定		会計	1	款	10	項	5								目	2	0	
	H	～							年間										

施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 17 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 生涯学習課
施策	22	生涯スポーツの推進	関係課	課長 河合 博市

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町民	生涯を通じてスポーツや運動に親しむ。	基本事業	1 スポーツ意欲の高揚	町民	地域からスポーツや運動への意欲や関心が高まる。
			2 スポーツ機会の充実	町民	スポーツや運動をする機会を得られる。
			3 スポーツ環境の整備	町民	スポーツや運動をする場を得られる。
			4		

施策の基本方針	・町民の多様なスポーツニーズにこたえ、身近な地域で気軽に運動に親しむ環境の整備を進めるとともに、生涯スポーツに触れる機会を創出し地域に根づいたスポーツの振興を図ります。 ・町民が、スポーツに「関心や興味を持ち・気軽に取り組み・自主的に継続できるよう」段階を追った支援に努めます。 ・主体的、継続的な競技スポーツを担う体育協会の活動と、子どもたちのスポーツ振興を担うスポーツ少年団の活動を支援します。 ・既存体育施設の計画的な施設整備や改修、備品等の更新を進め、生涯スポーツの場の確保と利便性の向上に努めます。
---------	---

成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
A 週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合	%	実績値	45.5	44.9	47.0	48.2			
		目標値		52.0	50.0	51.0	53.0	54.5	55.0
B 体育協会加盟競技団体数/登録者数	団体/人	実績値	20/1,418	19/1,349	19/1,277	19/1,278			
		目標値		20/1,400	20/1,350	20/1,300	20/1,300	20/1,250	20/1,250
C		実績値							
		目標値							
D		実績値							
		目標値							
E		実績値							
		目標値							

指標設定の考え方	A)直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」「週に1回程度」と回答した人の割合 B)数値が変わらず推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課で実数を把握 ※みなかみ町体育協会加盟団体数及び会員数
----------	--

目標値設定の考え方	A) みなかみ町スポーツ推進計画(H25.4～H35.3)の目標「週1回以上スポーツに取り組む成人の割合を55%以上とします」との整合性を図ります。この55%の根拠は、計画作成時の上位計画等を参考に設定を行いました。2015年の町民アンケートでは52%まで上昇しましたが、2016年には45.5%でした。60歳以上では常に55%以上を達成していることから、今後は若年層から子育て世代及び定年前の現役世代の取り組みを強化することで、実施率の上昇が可能と考えます。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催で、スポーツや運動に関心を持つ機運が高まることと予想され、この関心を自らが身体を動かす行動に結びつけたい。加えて、スポーツ推進計画に則った施策を推進することで、55%の目標達成を目指します。 B) 体育協会加盟団体のうち、人口減に伴い団体競技の存続は厳しい状況ですが、個人で容易に取り組める競技の人気は高くなっています。退職をきっかけに、時間に余裕の持てる世代の人口は増加が見込まれるため、この世代に運動の習慣を根付かせ加入につなげたい。2022年には成り行き値で2割の減少予定ですが、半分の1割減に抑えることを目指します。 既体育協会加盟団体には、引き続き活動の支援を行い、新たに未加盟で活動を行っている団体を掘り起こし、協会加盟のメリットを伝え加盟を促すことで、現状の加盟数維持を目指します。
-----------	---

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ・スポーツや運動に関心を持ち、教室やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。 ・スポーツや運動の楽しさを広め、仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ・指導者となり、さらには後継者を育成する。 ・町のスポーツ推進計画に関心を持ち、今後町の進むべき方向性を認識し、できることに協力・参加する。 ・町民が一堂に会する年一回の大イベントである町民体育祭に関心を持ち協力・参加する。 2. 行政(町、県、国)の役割 ・スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動に取り組むきっかけと、機会の提供を行う。 ・体育施設の整備と管理運営を行い、スポーツや運動を行う場を提供する。 ・スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。 ・スポーツ推進計画を広く町民に周知し、町のスポーツに対する方向性を認識してもらう。 ・改編された町のスポーツ関連団体のあり方を再度確認し、それぞれの特性を活かした団体の活性化・組織化を支援する。
---------------	---

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? ・2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、スポーツに関する機運が高まることと予想される。 ・2022年度に国のスポーツ基本計画が策定される。 ・2020年度に群馬県スポーツ推進計画が見直しされ、2021年度からの新たな推進計画が策定される。 ・2022年度にみなかみ町スポーツ推進計画を見直し、2023年度からの新たな推進計画に沿って推進していく。 ・少子化が進み、スポーツ少年団の単位団の維持が困難になりつつある(特に団体スポーツ)。 ・2020年度に水俣条約が施行され、水銀灯が国内で製造中止及び輸入禁止となる。 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ・老朽化の進む施設が多く、修繕や設備の機能向上を求める要望がある。 ・子どもや高齢者が気軽に体を動かせる場の提供が求められている。 ・町教委等が主催するスポーツや運動に関する行事について、町民の半数以上はスポーツ等に親しむ良い機会と考えている。 ・町教委の町民に対する調査では、トレーニングジム・ウォーキング専用コース・多目的屋内運動場を望む回答が多い。また、運動をほとんど行っていない人は「時間的にゆとりができれば身体を動かす」との意見が多数を占めた。 ・町民の生涯スポーツの推進に於いて、町の施策がどのように行われているか明確にしたい。 ・生涯スポーツを如何に町民に関心を持たせるか、連帯感を強めるため施策は何か最速か、町民の協力を如何に得るか考えて欲しい。
-----------	--

施策	22	生涯スポーツの推進	主管課	名称 生涯学習課 課長 河合 博市
----	----	-----------	-----	----------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因	
	① 時系列比較	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☒ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、近年では平成27年度が一番高く52.1%と半数を超え目標値に近づいたが、その後は、平成30年度47.0%と伸び悩んでいた。今年度は、若干伸び48.2%となった。年代別で見ると、高齢者では(60.70代)50%を超えているが、青年・壮年層が30～40%台に止まり実施率を下けている。 ②体育協会の登録者数は、平成29年度1,349人、平成30年度では1,277人、令和元年度では1,278人とピーク時の6割程に減少しているが、団体数は、昨年と同数の19団体を維持している。	
		☐ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☐ ほぼ同水準である。 ☒ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①国のデータと比較すると、週1回以上運動・スポーツをしている人の割合(全体)は、令和元年度実績比較で、国53.6%に対して町は48.2%と下回っており、各々の年代別で検証しても全ての年代で国の数値を下回っている。 ・みなかみ町 全体48.2%、青年42.9%、壮年37.6%、高齢者53.7% ・国 全体53.6%、青年51.2%、壮年47.0%、高齢者73.9% ※青年＝20～29歳、壮年＝30～59歳、高齢者＝60歳以上 ※国の数値は、スポーツ庁令和元年度スポーツの実施状況等に関する世論調査による ※町の数値は、令和元年度町民アンケート結果による ②沼田市体育協会と比較すると、会員数・団体数共に沼田市は前年よりも増加しているが、みなかみ町は減少している。 みなかみ町 (H30) 19団体・1,277人→(R1) 19団体・1,278人 (1人増・前年比100%) 沼田市 (H30) 32団体・6,888人→(R1) 32団体・6,786人 (102人減・前年比98.5%) ※沼田市体育協会は競技団体の他に、レクリエーション団体、中体連、スポ少を含む人数 ※利根沼田社会教育要覧(令和元年度版・沼田体協)による	
		☐ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☒ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」 令和元年度 48.2%と目標値 51.0%には達しなかった。 ②体育協会加盟団体・登録者数 人口減少や高齢化の影響で、平成29年度より1団体が継続して休会となっており、目標数20団体を下回っている。 会員数についても全体的にどの協会も横ばい状態にあり、総数で1,278人となり目標値1,300人には達しなかった。	

基本事業の成果指標	基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1	スポーツ意欲の高揚	A 地域体育協会設置数	団体	実績値	1	1	1	1			
					目標値		1	1	1	2	2	3
			B スポーツ少年団の団数/団員数	団体/人	実績値	18/438	19/426	19/438	20/460			
					目標値		17/411	17/400	17/390	18/380	18/380	18/380
	2	スポーツ機会の充実	A 体育協会加盟団体の教室開設数	教室	実績値	43	43	48	48			
					目標値		43	43	43	44	44	44
			B		実績値							
					目標値							
	3	スポーツ環境の整備	A 体育施設利用者数	人	実績値	89,503	126,393	144,711	131,056			
					目標値		89,500	89,600	89,700	89,800	89,900	90,000
			B		実績値							
					目標値							
	4		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名		今後の課題	今後の取り組み(案)
	1	スポーツ意欲の高揚	①スポーツ推進計画の目標「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合を55%以上とする」を計画的に達成する。 ②スポーツに取り組む人の裾野を広げるため、地域のスポーツ活動を推進する組織の立ち上げが必要である。 ③少年期のスポーツ機会の創出	①町民体育祭等スポーツイベントの企画や立案を外部団体と連携しアウトドアスポーツや運動・健康づくり等に関する教室及び講演会を実施する。 ②町教委・スポーツ推進委員会を中心に地区体育委員と協力し、地域スポーツを推進する組織づくりを進める。 ③スポーツ少年団への支援を進める。 (意欲の向上と励みの一助として、スポーツ優秀者を顕彰する。)
			①生涯を通じ健康な生活を送るために、継続的にスポーツに取り組むが出来る機会を創出する必要がある。 ②スポーツの普及において体育協会の担う役割は大きく、協会の活性化が重要である。	①体育協会及び関係部署と連携し、健康維持のための教室やスポーツイベントを開催する。 ②体育協会も年々会員数が減少し、継続・維持が困難な団体もあり組織のあり方や運営についてを協議し対策を講じる。
			①安全かつ継続的にスポーツが行えるよう、各体育施設の点検を進め維持管理を図る。 ②施設整備や備品等の更新を順次行うことで、利便性の向上を図りながら、施設の有効利用を促進する。	①老朽化や改修等を、みなかみ町体育施設維持計画書を活用し、計画的に整備・改修を進める。 ②各地区で軽スポーツやトレーニングが安全・手軽に行えるよう用具・機器を順次整える。
	2	スポーツ機会の充実		
	3	スポーツ環境の整備		

令和元年8月20日作成 (令和2年6月12日更新)

令和元年8月20日作成 (令和2年6月12日更新)

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

— 56 —

22_生涯スポーツの推進

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000003	体育振興費補助金交付事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,654,125 円
施策	22	生涯スポーツの推進	社会体育の振興を図る事業を実施する団体等に対し、予算の範囲内で事業実施に要する経費の一部を補助金により交付する。	月夜野地区は体育協会があり、年間を通して活動してくれている。水上・新治地区には体育協会は存在していないが今回初めて新治地区から申請があった。	事業実績	
基本事業	02	スポーツ機会の充実	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	申請(交付)件数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	6 目	1
	H ~ 年間					
					単位	
					1	4 件

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

事務事業	000004	スポーツ教室事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	248,551 円
施策	22	生涯スポーツの推進	スポーツ機会の充実に資するためスポーツ教室を開催する。	小学1・2年生を対象に水泳教室を実施。子育て健康課の教室と日程が重ならないよう大人の健康体操教室を開催した。(中止)	事業実績	
基本事業	02	スポーツ機会の充実	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	スポーツ教室開催回数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	6 目	1
	H ~ 年間					
					単位	
					4	7 回

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000005	町民体育祭事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,362,014 円
施策	22	生涯スポーツの推進	町民相互の親睦と融和を深め、町民の体力向上と健康増進を図る為の町民体育祭を実施(台風の為中止)	新治、水上地区の体育委員への説明会を早期に実施し職務について伝達を行った。選手集めをする体育委員の負担を軽減するためスポーツ推進委員に協力してもらった。体育祭当日は滞り無く開催できた	事業実績	
基本事業	02	スポーツ機会の充実	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	体育祭参加者数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	6 目	1
	H ~ 0 年間					
					単位	
					0	1,955 人

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000006	プール開放事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,014,862 円
施策	22	生涯スポーツの推進	毎年、学校等の夏休み期間中に新治B&G海洋センタープール及び桃野小学校プールを開放し、安全で安心して水に親しむ場所を提供。	国の出したプール開放に係る熱中対策を参考に安全を考慮し、適宜開放を中止した。B&G海洋センターの循環器については修繕工事を発注し実施した。	事業実績	
基本事業	02	スポーツ機会の充実	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	利用者数・開放日数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	6 目	2
	H ~ 年間					
					単位	
					2,050・70	1,954・67 人・日

22.生涯スポーツの推進

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

事務事業		000008		平成32年度全国高等学校総合体育大会(登山)事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		855,000 円			
施策体系	施策		22		生涯スポーツの推進				令和2年度に全国高等学校総合大会登山大会をみなかみ町と片品村で合同開催するための経費 令和元年度に合同実行委員会立上げそれぞれ負担金を出し合って事業を実施する。(令和元年度は県より補助金、令和2年度は国・県・協賛金等を活用できる)				新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止の決定				事業実績				
	基本事業		02		スポーツ機会の充実												登山大会選手・役員参加者数				
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		東京オリンピックとパラリンピックの開催年でもあり、バス・機材等の確保が難しく、費用も高騰している。 また、会場地が分散しているため、費用も割高である。また、みなかみ町と片品村の職員との意思疎通も距離の影響で苦労している。				大会の中止を受けて、解散総会を実施			
事業期間		継続事業				会計		1		款		10		項		6		目		1	
		H元～年間																			
		0																0		人	

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業		000001		総合体育館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		4,892,254 円	
施策体系	施策		22		生涯スポーツの推進				みなかみ町月夜野地区の体育施設の拠点施設で、臨時職員4名で日程調整をして、主に施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出業務を行っている事業。				バスケットゴール点検業務委託の継続実施。老朽化のため、早期に更新の必要あり。また、清掃用具の更新を実施。				事業実績		
	基本事業		03		スポーツ環境の整備												施設利用者数		
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策					
根拠		無 組織		生涯学習 課		生涯学習 係				月夜野地区体育施設のスポーツ器具・用具が老朽化しているため買い換えなどを進める必要がある。				器具・用具については、老朽化の判別をし計画的に更新を実施していく。					
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		6 目		2		平成30年度		令和元年度		単位	
H ~ 年間														33,060		23,866		人	

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業		000002		水上社会体育館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,276,630 円																	
施策体系	施策		22		生涯スポーツの推進				施設の維持管理を行う事業。みなかみ町水上地区の体育施設の拠点施設で、主に施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出を行っている。施設の老朽化が進んでいるため、近年部分的に補修を行っている。				総務課主導で、湯原地区の公共施設の統合検討を実施。				事業実績																		
	基本事業		03		スポーツ環境の整備												施設利用者数																		
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策																	
事業期間		継続事業				会計		1		款		10		項		6		目		2		耐震調査での報告書について協議し、改修工事の検討				水上地区体育施設の拠点移設なので、耐震改修・老朽化対策について関係部署と連携し、方向性を決定していく必要あり。				平成30年度		令和元年度		単位	
H		～		年間																		13,103		14,045		人									

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

事務事業		000003		新治B&G海洋センター管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		3,787,961 円			
施策体系	施策		22		生涯スポーツの推進				新治B&G海洋センターの管理運営業務				研修に参加し、指導者再登録。財団事業への積極的参加など幅広く活動し、2年連続特Aランクを獲得。				事業実績				
	基本事業		03		スポーツ環境の整備												施設利用者数				
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
根拠	無	組織	生涯学習		課	生涯学習				係				B&G海洋センターには指導員を常勤させなくてはならない決まりがあるため、他課の指導者資格者は海洋センターと兼務。また、1ヶ月間の研修に参加し新規指導員の確保。財団事業への積極的参加により特Aランク(評価)を維持する。				新規指導員研修への参加。特Aランクを維持し、海洋センターの大規模改修の修繕助成を要望する。			
事業期間	継続事業		会計		1	款	10	項	6	目	2					平成30年度	令和元年度	単位			
H		～ 年間														12,013	12,725	人			

22_生涯スポーツの推進

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000004	体育施設管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	26,372,932 円
施策体系	施策	22	生涯スポーツの推進	緑地広場ホッケー場、北部グラウンド、南部グラウンド、大中島運動公園テニスコート、月夜野総合体育館、名胡桃体育館、南部体育館、北部体育館、月夜野弓道場、大穴多目的広場、湯原多目的広場、水上社会体育館、新治武道場、入須川社会体育館、新治日&G海洋センター、新治中央運動公園(野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート)等の社会体育施設の維持管理を行う事業	南部体育館トイレ改修工事 ホッケー場防草シート敷設工事 新治運動公園野球場ネットフェンス補修工事	事業実績
基本事業	03	スポーツ環境の整備	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	施設利用者数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	関係者への説明・理解	体育施設維持計画に基づき、老朽化が著しい施設より順番に維持修繕にあたる。
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	6 目	2
H ~ 年間						
					平成30年度	令和元年度
					84,485	80,420
					単位	人

令和 元 年 8 月 9 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務事業	000006	大中島公園管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,286,732 円
施策体系	施策	22	生涯スポーツの推進	都市公園(S63年3月告示、都市緑地)に係る維持管理事業である。	ナイター照明LED交換工事を発注する。工事は、次年度に着手する。	事業実績
基本事業	03	スポーツ環境の整備	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数	
根拠	有	組織	地域整備 課	都市計画 係	テニスコートのナイター照明が老朽化して、施設全体を更新する必要がある。	草刈り等の維持管理を徹底する。
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	4 目	4
H ~ 年間						
					平成30年度	令和元年度
					1	1
					単位	件

令和 元 年 8 月 9 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務事業	000007	湯捨管公園管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	728,640 円
施策体系	施策	22	生涯スポーツの推進	都市公園(H12年8月告示、地区公園)に係る維持管理事業である。指定管理者:ゆびそ塾	テニスコートの活用方針について管理者と協議した。	事業実績
基本事業	03	スポーツ環境の整備	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数	
根拠	有	組織	地域整備 課	都市計画 係	地元の奉仕活動としての管理は見込めなくなっているため、適正な予算措置が必要である。テニスコートの老朽化が進み利用者が減少し続けているため、早急な改修が必要。指定管理者と奥煙について検討したが、分煙施設2カ所の要望があった。	管理者と協議し、テニスコートの活用方針を決定する。コロナウイルスの影響により、指定管理料の増加が見込まれる。
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	4 目	4
H ~ 年間						
					平成30年度	令和元年度
					1	1
					単位	件

令和 元 年 8 月 9 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務事業	000008	寺間運動公園管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	305,640 円
施策体系	施策	22	生涯スポーツの推進	都市公園(H16年8月告示、運動公園)に係る維持管理事業である。指定管理者:群馬スノーアライアンス	野球場の老朽化による整備については、検討していない。	事業実績
基本事業	03	スポーツ環境の整備	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数	
根拠	有	組織	地域整備 課	都市計画 係	使用頻度の高い野球場の老朽化が進み整備が必要である。指定管理者と公園内の喫煙について検討する。	管理者と野球場の整備について検討する。
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	4 目	4
H ~ 年間						
					平成30年度	令和元年度
					0	0
					単位	件

22_生涯スポーツの推進

令和 元 年 8 月 9 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務事業		000009		総合公園管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		0 円									
施策体系	施策		22		生涯スポーツの推進				都市公園(H10年10月告示、総合公園)に係る維持管理事業である。				バラ園の駐車場化を検討したが、結果は出ていない。				事業実績										
	基本事業		03		スポーツ環境の整備												施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数										
根拠		有		組織		地域整備		課		都市計画		係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
事業期間		継続事業		会計		1		款		8		項		4		目		4		平成30年度				令和元年度		単位	
H		～		年間														0				0		件			
																		バラ園の駐車場化を検討し、方針を示す。									

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業		000013		社会体育施設ナイター照明LED化改修事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,045,000 円							
施策体系	施策		22		生涯スポーツの推進				社会体育施設として整備されたナイター照明が2020年水銀灯国内生産中止に伴う改修工事を順次実施。「水上中、大中島テニス、新治中、新治中央運動公園、月夜野野球場、北部、古馬牧小、藤原中など」				水上中学校ナイター照明改修設計業務委託				事業実績								
	基本事業		03		スポーツ環境の整備												改修施設数								
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策											
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		2020年度水銀灯国内生産中止と輸入禁止の水俣条約が施行されることで社会体育施設の見直しが必要とされる中で、利用頻度の高い施設から順次改修工事の検討を進める。				体育施設維持計画に基づき、老朽化・利用頻度等を勘案し順番に維持修繕にあたる。							
事業期間		期間限定事業		会計		1		款		10		項		6		目		2		平成30年度		令和元年度		単位	
		H 31 ~ 年間																		0		1		件	

施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 16 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 生涯学習課
施策	23	文化財の保存と活用	関係課	課長 河合 博市

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
①町民 ②町内の文化財	①文化財に対する意識を高め、保存と活用を行う。 ②適切に保存される。	基本事業	1 文化財の保存	①保存に携わっている人 ②町内の文化財	①積極的に保存活動を行う。 ②適切に保存される。
			2 文化財の活用	①町民 ②町内の文化財	①文化財に関心を持つ。 ②広く周知される。
			3		
			4		

施策の基本方針	- 文化資産の総合的な把握と計画的な保存を進め、町民に文化財や伝統芸能に触れる機会を創出することで、文化資産を身近に感じ、郷土に対する理解と関心を高めます。 - 町内に残る多くの文化財や伝統芸能を引き続き適切に保護・継承するとともに、町内に眠る未指定の文化資産の調査を進めます。 - 文化財施設とそこで行われる伝統行事を併せて保存するなど、文化資産の価値を高め活用につなげます。活用を行うにあたっては、その活用によって与える文化資産への影響を認識したうえで、関係各署と連携して広域的に検討を行います。
---------	--

施策の 成果指標	成果指標名		単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	地域の伝統芸能に参加している町民の割合	%	実績値	8.5	19.1	18.3	17.9			
				目標値		8.4	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	B	指定文化財の数	件	実績値	102	103	103	103			
				目標値		103	103	103	104	104	104
	C	地域で継承されている伝統芸能の数	件	実績値	30	30	30	30			
				目標値		30	30	30	30	30	30
	D			実績値							
				目標値							
	E			実績値							
目標値											

指標設定の考え方	A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能(祭りや神楽、獅子舞など)に参加する」と回答した人の割合 B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課で実数を把握 ※国、県、町の指定を受けている文化財の数 C) 直接的な設問であり、数値が維持できれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施
----------	--

目標値設定の考え方	A) 伝統芸能の本来の意味に賛同し、新たに継承に携わる人を確保するのは容易なことでは無い。少子・高齢化の進展により、携わる人が徐々に減少するのは必然と考える。しかし、前世より大切に継承されてきた伝統芸能を後世へ引き継ぐために、現在地域の行事に参加するなどし、少なからず興味を示している町民を繋ぎ止める取り組みを進めることで現状維持を目指す。 B) 経年とともに老朽化が進む文化資産を適切に保存できれば、現在の町内指定文化財 103件の維持ができ、そのうえで未指定の文化資産の調査を進め、最終年度までに2件以上指定することで105件にする。 C) 教育委員会が把握している地域の伝統芸能(太々神楽・獅子舞等)は現在30件である。伝統芸能は一度絶やすと、復活が厳しのが現状です。いずれも後継者・財政面は厳しい状態ですが、補助金の有効活用や後継者育成に様々な工夫を凝らし、適切に保護することで、この30件を減らすことなく後世への継承を目指します。
-----------	---

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 - 身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・活用を協力する。 - 地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。 2. 行政(町、県、国)の役割 - 建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護・管理する。 - 後継者の育成を支援するなど、無形文化財の継承を推進する。 - 町民が郷土や歴史への認識を深められるよう、資料館の活用を図り文化財に関する情報提供・発信をするなど、普及啓発活動に取り組む。 - 文化財行政の枠にとらわれず、関係各署と連携して文化財の活用事業を展開する。
---------------	---

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? - 文化財の老朽化が進行している。今後定期的な補修していかなければならない。 - 人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少し、後継者の育成が困難な状態となる。結果として伝統芸能の減少へとつながる。 - 文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視という理由ではなく、あくまでも文化財保護を前提に、その条件をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方である。 2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? - 月夜郷土歴史資料館の開館日を増やし、展示内容を工夫して欲しいとの要望がある。 - 文化財の修繕や備品購入の補助に関する要望が寄せられている。 - 予算的な措置と併せて、後継者の募集・育成などに協力して欲しいとの要望がある。 - 町の伝統芸能は各地域で数多く伝承されており、その伝統芸能を町内で発表する機会をつくる必要がある。 - 町内には、まだ多くの貴重な文化財が存在しており、町指定文化財の拡充を図って欲しい。 - エコパークの指定や戦国ブーム・国指定絹織物群など自然、歴史、文化等に対する興味・関心が高まっているなかで、文化財の理解・保存・活用が一層望まれる。 - 町には、多くの遺産が残っているが、展示施設や博物館が充実していないため、学ぶ機会を阻害している。 - 町の遊休施設を有効活用し、みなかみ町の文化財や歴史遺産を広く発信すべきである。
-----------	---

施策	23	文化財の保存と活用	主管課	名称 生涯学習課 課長 河合 博市
----	----	-----------	-----	----------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☒ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①地域の伝統芸能へ参加している町民の割合は、平成28年度以前は8～9%台であった。平成30年度18.3%、令和元年度17.9%と減少した。元年度については新型コロナウイルス感染症の為に閉館期間が要因となった。 ②指定文化財数は、管理者を中心に地域の方々の協力のもと、平成30年度と令和元年も103件を維持できている。 ③地域で継承されている伝統芸能の数は、平成30年度から30件が維持されており、指定文化財と同様に地域住民の努力により大切に継承されている。
	② 他団体との比較	☒ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☐ ほぼ同水準である。 ☐ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は非常に多い。要因として、歴史的遺産を文化財指定するには、文化財調査委員や教育委員会の判断によることから、町民の歴史に対する意識が高いことがうかがえる。 また、一般的に街道沿いには文化財が多いことから、三国街道があったことも大きな要因と考えられる。 ※令和2年3月31日現在の各市町村の指定文化財数(単位:件) みなかみ町 国:8 県:22 町:73 計:103 沼田市 国:3 県:15 市:73 計:91 片品村 国:3 県:4 村:53 計:60 川場村 国:0 県:5 村:5 計:10 昭和村 国:0 県:2 村:19 計:21
	③ 目標の達成状況	☐ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☒ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☐ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①地域の伝統芸能に参加している町民の割合 目標値の8.3%を大きく上回り17.9%であった。 ②指定文化財の数 目標値の103件を維持できた。今後、概ね2年に1件程度の指定を目指している。文化財調査委員と連携し、地域に眠っている文化財の掘り起こしを継続していく。 ③地域で継承されている伝統芸能の数 目標値の30件を維持できた。

基本事業の成果指標	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1 文化財の保存	A 文化財の保護活動者数	人	実績値	672	705	1,616	271			
				目標値		650	640	630	620	610	600
	2 文化財の活用	B 適切に保存される文化財の数	件	実績値	102	103	103	103			
				目標値		103	103	103	104	104	105
	3	A 資料館の入館者数	人	実績値	1,164	960	1,009	964			
				目標値		1,050	1,000	950	900	850	800
	4	B 文化財の見学者数	人	実績値	68,331	21,684	26,470	29,236			
				目標値		22,000	22,000	22,000	21,500	21,500	21,000
		A		実績値							
				目標値							
		B		実績値							
				目標値							

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
	1 文化財の保存	①文化財は時代の経過と変化する社会情勢の中で、遺失・風化・管理者不足・老朽化等諸課題が懸念されている。計画的な保存と普及活動を進める必要がある。 ②伝統芸能・文化は過疎化や高齢化に伴う後継者不足、時間の経過による道具等の損傷により、その継承や保存は容易ではない。一度絶やすと再興が厳しいため、引き続き適切な支援が重要である。	①重点的な修繕を必要とする国指定重要文化財・旧戸部家住宅屋根改修事業は、湯原地区公共施設最適化計画が策定され次第事業に取り掛かる。 ②展示物や所蔵している物品のデータベース化を行う。 ③保存会活動に積極的な古馬牧の人形浄瑠璃、水上歌舞伎等については財政的・事務的な支援を行い、より確実な後継者育成・普及に努める。 ④伝統文化の保存・継承に向けた支援・助言を行う。
	2 文化財の活用	①文化財は保護を最優先に、一過性では無い恒常的な観光・学習資源として活用を図る施策が必要である。 ②町内5ヶ所の資料館は展示方法に変化が無く、今後展示替えを行う等工夫を凝らし、リピーターを含め多くの人に活用される資料館を目指す。	①町歴史ガイドの会や関係部署等と連携し、観光資源として文化財の活用を進める。 ②月夜野歴史民俗資料館の展示替えを最初に実施し、順次他の資料館についても検討を重ね、展示内容の充実を図る。 ③学校や町民に対し、パンフレットや資料の利用を促し、文化財への関心を高める。 ④利根商業高校の生徒と連携して、名胡桃城址の郭ごとのジオラマ作成を継続して行っていく。
	3		

令和元年8月15日作成 (令和2年6月5日更新)

令和元年8月15日作成 (令和2年6月5日更新)

令和元年8月15日作成 (令和2年6月5日更新)

令和元年8月15日作成 (令和2年6月5日更新)

— 63 —

23_文化財の保存と活用

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000005	文化財調査委員会事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	756,893 円
施策	23	文化財の保存と活用	文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。	特になし	事業実績	
基本事業	01	文化財の保存	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	資料館(月夜野・水上・雲越)見学者数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	4
H ~ 年間					1,803	1,788 人

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000001	月夜野郷土歴史資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,242,177 円
施策	23	文化財の保存と活用	月夜野郷土歴史資料館の管理運営	特になし	事業実績	
基本事業	02	文化財の活用	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	来館者数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3
H ~ 年間					434	388 人

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000002	水上歴史民俗資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	50,636 円
施策	23	文化財の保存と活用	水上歴史民俗資料館の管理運営	特になし	事業実績	
基本事業	02	文化財の活用	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	来館者数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3
H ~ 年間					1,006	1,026 人

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000003	雲越家住宅資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	471,108 円
施策	23	文化財の保存と活用	雲越家住宅資料館の管理運営	特になし	事業実績	
基本事業	02	文化財の活用	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	来館者数	
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	平成30年度	令和元年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3
H ~ 年間					363	374 人

23_文化財の保存と活用

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業		000004		永井宿郷土館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		500,000 円			
施策体系	施策		23		文化財の保存と活用				永井宿郷土館の管理運営				特になし				事業実績				
	基本事業		02		文化財の活用												来館者数				
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		指定管理しているため、基本的には展示内容等を含め永井区に委託している。				特になし			
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5		目		3			
H		～		年間														平成30年度			
																		令和元年度			
																		単位			
																		471			
																		373			
																		人			

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業		000005		県博物館連絡協議会参画事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		10,000 円					
施策体系	施策		23		文化財の保存と活用				群馬県内における公設・私設資料館および美術館等の連絡協議会事務。	特になし	事業実績								
	基本事業		02		文化財の活用						入館者数								
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		平成30年度		令和元年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5		目		3	
H		～		年間														434	
																		388	
																		人	

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業		000006		猿ヶ京関所資料館管理運営事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		633,843 円	
施策体系	施策		23		文化財の保存と活用				猿ヶ京関所資料館の管理運営	特になし	事業実績				
	基本事業		02		文化財の活用						入館者数				
根拠		無		組織		生涯学習		課		生涯学習		係		平成30年度	
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5	
H		～		年間										2,056	
														1,501	
														人	

5. 学識経験者の意見等

Ⅰ．学校教育関係

【 学校教育の充実 】

『学力向上』について

・年度末の新型コロナウイルス感染症による学校臨時休業の学力への影響や懸念について、N R T検査の結果は小・中とも前年よりも下がった状況であった。これは3月からの長期臨時休業の影響があり、休業中の、指導の在り方や指導力が影響しているのではないかと考えられる。また検査の実施が例年の4月から6月に変更され、休業明けすぐの実施となったことも影響しているものと考えられる。国からのいきなりの休業指示。準備もなくの対応で混乱の中、大変なものがあった。その影響の結果ではありますが子ども達に対しての学力保障は極めて重いものがあり、早期に何らかの形で補充、補強の対応をお願いしたい。また今回の事項に対する対応はまさに危機管理であり、今回の取り組みを詳細な分析により貴重な事例として、今後も想定されることとして、教育委員会をはじめ、学校関係者全体で考え、今回を活かすべく体制の整備にあたって整えておいて頂きたいと思います。

・休業中の児童生徒の様子については、3ヶ月に近い学校の長期臨時休業は学校、児童生徒、家庭とも初めての経験であり、学校の対応も試行錯誤の中で行われた。休業期間中における家庭での過ごし方、学校の関与の仕方、課題の出し方などいろいろと工夫し取り組んだものの至らないところも多く、新年度に入り学習用のプリントを配布したものの、普段学習が身に付いていない児童生徒等は、休業中でも自分で復習したりすることができなかったり、それに対するフォローが不足していたり、学校再開後に実力テストを実施することができなかったことなど十分な対策がとれなかったことなど多くの反省点があった。今後、同様の事態に遭遇した場合、家にいることが困難な児童生徒や学校の関わりが必要な児童生徒についての扱い等を含め、児童生徒に対する対応について、今回学んだ事例として具体的に検討し、今後に対する対応策として確立されておかれるようお願いしたい。

『ICTを活用した教育の推進』について

・G I G Aスクール構想について、令和2年度から一人一台端末（以下、「タブレット」）が整備され、授業においてタブレットを活用した具体的な取り組

みが求められています。教育委員会でも導入し活用するための体制づくりが進められておりますが、ICT関連機器を取り入れた教育のねらいは何であるかの目的を確実に理解・把握し、授業の展開にあたっては、あくまでも授業の目的・ねらいを到達するため、学力の定着を図るための手段であって、ICT機器の利用が目的でないことをしっかり把握し、まずは授業自体の組み立てをしっかりとされた上での効果的、有効的な活用で成果を上げていただきたい。おいに期待をしています。

・タブレットの導入にあたって、学校で有効に使っていくため、ICTサポーターから定期的に指導頂けることは、この教育を推進していく上で有り難く心強く思います。素晴らしい効果が期待される反面、この教育の推進に負担を感じる教職員の存在や、消極的な教職員も考えられます。是非、学校現場の声や受け止め方など教職員についての実態も把握された上で活気溢れた推進をお願いし、期待をしています。

『小学校教科担任制』について

・小学校高学年の教科担任制が次第に教科毎に進んでいきますが、特に英語については令和2年度より、5・6年生においては「外国語科」という教科となり、英語教育が進められています。3・4年生においても「外国語活動」が始まりました。町ではこの英語教育の充実を図るため、ALTの配置など指導体制づくりに意欲的に取り組んで頂いております。本当に心強く思います。今後中学校での英語学習へと5年間続く学習のはじまりです。「英語大好き」という好きな教科として続けていけるよう充実した、楽しい学習の展開を期待しています。

『英語教育』および『英語検定料補助』について

・今後の国の教育の方向性をみるときに、その一つとして英語力の育成やそのための「英語教育」に力をいれていると思われます。教育のこういう動きが見られる中、自ら興味関心を持ち意欲的に自らの努力により、英語の力を身に付けていこうとする姿勢には素晴らしいものがあります。その努力の一つとして英語検定を受け、力をみがき、自らを高めていくことはこれも素晴らしいことであります。そして現在、町としてその努力をする中学生に応援の主旨から検定の受検料の補助をされておられることは有り難いことであります。しかし、公費を私的な受検をする一部の生徒に補助をされることは如何なものでしょう

か。公費であれば等しく対象者全員に公平に補助されるべきものだと思います。どうかこの素晴らしい事業が全ての対象者に行き届くべく、対象となる全ての生徒にとって、英語教育の重要性、英検の重要性、受検の必要性等の丁寧な説明により理解を広げ奨励し、その上での実施が必要かと思います。検討をお願いしたいと思います。

『不登校の未然防止』について

・不登校児童生徒の実態は、町の全児童生徒数に対する不登校児童生徒数の割合の数値を全国平均と比べても、前年度との比較においても、減少を示し良い傾向といえます。しかし全児童生徒数が年々減少する中での数値としてはまだ残念な数値でもあります。不登校の理由は、種々多様であり、対応も大変な中、先生方の子ども達一人ひとりの将来を考えながらの熱心な努力により現状を示しているとも考えられます。不登校の児童生徒が、一人でも減少するよう、今後とも先生方の負担軽減を配慮されながらの愛情のある対応をお願いします。

・不登校でリエントリールームを活用していた児童生徒を含め、不登校であった児童生徒のその後の状況等については把握されていないとのことですが、子育て健康課などと連携し、成人期になるまで見守っていこうというのは如何でしょうか。町として関われる部分があれば関わって支援をしていけるとよいと思いますが。

『いじめ』について

・令和元年度に報告のあった「いじめ」の件数は減少傾向にあり、またいじめの大半は「からかい」「軽くたたく」などが殆どで、重大事案になるような事例は発生していない。また、コロナ感染症関連の「風評被害」や「いじめ」を心配したが、今のところ発生していないとのこと。日頃の丁寧な指導の成果であり、いじめのない学校を目指し今後ともご指導をよろしくお願いします。

『教職員労働安全衛生事業』について

・教職員の服務規律にかかる心の病について、ストレスチェックの導入や相談できる産業医との提携など、教育委員会として対応をしていただき大変良いことだと思います。令和元年度において、精神疾患による病休者や相談を受けた人はいないとのことですが、引き続き、労働環境の把握や改善などについて配

慮していただきたいと思います。

・小中学校教職員の働き方改革の一環で、利根郡4町村による統合型校務支援システムが共同利用という形で導入されました。本格的な運用は令和2年4月からとのことですが、学校教職員共通のプラットフォームができたことは、業務改善に期待が持てよい取り組みだと思っています。まだ試行錯誤の状況で、内容的に効果が出てくるのはこれからとのことですが、現場の声も反映しながらよりよいシステム運用と教職員の業務改善につなげてください。

『中学生海外派遣事業』について

・中学生の海外派遣事業、小学校の交流事業と多くの体験を重ねる機会を子ども達に提供して下さる町当局に対し有り難く感謝の念で一杯です。子ども達には幸せなことだと思っています。しかし現在は、学年は異なりますが中学校での2回にわたる海外派遣事業ですが、今後は中学生生活においては1回だけとし、今一度、なぜ海外に出掛けるのか、何のための海外派遣なのか、何を学ぶためなのか、など海外派遣の事業の目的・ねらいをしっかりと持った上で、ぜひ全員の中学生に同じ海外経験・社会体験をする機会をあたえていただきたい。そして中身の濃い中学生時代の宝として将来に生きるものを学ぶ学習の機会として実施していただければ有り難く思います。事後においても全員の生徒が体験を共有出来ることも素晴らしいことだと思っています。検討してみて頂ければと思います。

『学校施設等の環境改善』について

・学校施設の整備に関して、近年の環境変動の影響と思われる夏場の暑さは度を超えています。令和元年度において、小中学校の普通教室(60室)および一部特別教室(20室)へエアコンが設置されたことは非常に良かったと思います。教育面での良い効果を期待します。ガイドライン等も作成し運用しているとのことですので、適切な運用を心がけてください。

【 総 評 】

・学校統合の問題が、月夜野地区の小学校統合に関する課題を残しながらも大詰めの段階にさしかかり、実りある統合に向けての細部にわたる検討・諸準備と非常に多忙の中、2学期末より新型コロナウイルスの発生に伴う国の動き。

これに伴っての学校現場におけるこれまでに経験したことのない混乱。その対応に追われた令和元年度末。特に長期間にわたる学校の休業に伴う児童生徒の学習の保障、学力の保障に関しては試行錯誤の連続で手探りの対応であったと思います。NRT検査を見ると多少の影響は見られるが、ある程度安定したものであってよく対応出来ていたのではないかと思います。しかし欠落している部分については、早い内に補充等十分の対応をお願いしたい。今回の急激な学校休業等の指示に対する現場がとるべき対応についていわゆる危機管理や、休業中の児童生徒に関する指導・対応の在り方など反省を含めよき経験となったことと思います。今後もこのような事態が想定される中、今回を参考事例として対応の組織や体制づくりなどをお願いします。

・一方、子ども達の学力向上の取り組みから始まり、将来を見据えた新しい学習指導要領の対応も計画的に体制づくりが進められ、また行事や事業等一部内容の変更等あったものの計画通り実施され大変な中、成果を上げ素晴らしい1年であったと評価しております。

この機会に、次のコロナ後の新しい時代を迎えようとするとき、学校教育と子ども社会教育はどうあるべきなのか、現在実施されている諸事業などの課題を明確化していく必要があると思います。見直しのチャンスだと捉え、町民が喜び、納得のいく教育行政が一層推進されますよう願っています。

2. 生涯学習関係

【生涯学習の推進】

『生涯学習の進め方』について

・学習活動を行っている町民の割合について、アンケートの聞き方にピンとこない町民が多いのではないのでしょうか、趣味で行っている人も含めればもっと割合は増えると思います。「生涯学習」は、自分のもっている知識や趣味の範囲も含まれており、必ずしも本を持って学習するだけとは限らないため、「テーマを持って学習しているか」と聞かれると「していない」と答えてしまう町民も多くいるのではないのでしょうか。「自分を少しでも高めたいと思う人」がどれだけいるかとなれば数字はもっと増え、聞き方を変えることによって意図とする実態が得られるのではないかと思います。これを基準に目標設定できればさらによいと思います

・公民館利用者数の他市町村との差が大きい。町公民館・カルチャーセンターの利用率には地域の公民館が入らないとのことなので、ベースが同じか疑問もあります。住民としては地域の集会所を利用する機会も多く、カルチャーセンターと同等の活動ではないかと思うので、公民館等の利用者数も含めた比較のほうがよいのではないかと思います。

・コロナ対策の今後を考えた時、カルチャーセンターで行うイベントなど、中止を優先するのではなく。形を変えてできる方法を考えていく必要があるのではないかと思います。人が集まれない中でユーチューブ等の動画配信を活用した生涯学習活動を考えているとのことなので是非進めてください。

・生涯学習への参画について、日中若い人は働いている、高齢者は移動手段がなかったり、介護サービスを利用したりで参加できないという人がいる。講座は受けたいが受けられない人が多いと思います。そのへんを考慮していかないと、良い講座・イベントを開いても盛り上がりには欠けることになると思いますので、移動手段を考えたり、公民館やカルチャーセンターだけでなく、近場で行うようなことも検討したりする必要があるのではないのでしょうか。

・奄美との交流事業について、参加人数が毎年十数名程度と人数も限定されつつあり、参加校も新治地区の学校中心となってきた状況だと思います。全町的な参加を期待するのであれば、他地区の児童等が参加しやすくなるよう考えてやる必要があると思います。運営の仕方や内容の検討、宿泊施設を組み合わせるなどホームステイの在り方も考え直す時期が来ているのではないかと思います。20周年を迎え再検討するにはよい時期ではないのでしょうか。

・社会教育関係のイベントや人の集まりが相次いで中止となりましたが、このままではいけないと思います。来年も休みというわけにはいきません。どのような形でできるか、どういう形なら人を集めることができるか検討して対応する必要があると思います。イベントの在り方も含めてぜひ検討をお願いします。

・人口の減少・時に子ども達の減少が、いろいろなことに影響して、社会教育活動も大きな影響を受けています。各団体の在り方も考慮していかなければいけない時代に來ていると思います。

【生涯スポーツの推進】

「生涯スポーツ」の指標等について

・生涯スポーツについては競技として活動するだけでなく、日常的に体を動かすという捉え方があってもよいのではないかと思います。ウォーキングやヨガ、体力向上や健康づくりのために運動するのもありで、個人や団体を通じた働きかけを行い、運動の輪を広げるような取り組みを行えば、週1回以上運動している人の割合もさらに上がってくるのではないのでしょうか。

・総合体育館の利用者が減っている理由として、平成30年度は高校総体ホッケー競技の関東大会が開催された関係で利用者数が多かったためと思われます。町民の利用者とイベント等の利用者を別に把握し、記載したほうがよいのではないかと思います。カルチャーセンターもそうですが、町内と町外の利用者、また、イベント等の利用者をそれぞれ別に把握したほうがよいのではないかと思います。より詳細な利用者の実態把握に努められることを期待します。平成30年度に完成した町民サッカー場も同様をお願いします。

・平成30年度に完成した町民サッカー場の利用状況について、町内のスポーツ少年団、県内の全国高校サッカー予選や総合体育大会などの公式大会、町内に宿泊して大きな大会を開催する県外校など、具体的な利用状況をお聞きしました。有効的に活用されていると認識しました。今後も利用者数を増やす取り組みを引き続きよろしくをお願いします。

【文化財の保存と活用】

「文化財の活用」について

・月夜野郷土歴史資料館と水上歴史民俗資料館の入館者数の差が大きく、月夜野郷土歴史資料館の入館者数が低調であるように思いました。テレビ放送の影響も有るかと思いますが、名胡桃城址の入場者数2万人と比較するとさらに大きな違いがあります。水上歴史民俗資料館は温泉街にも近く、公民館と社会体育館の複合施設にもなっていることから利用しやすいのではないかと思います。月夜野郷土歴史資料館には県内でも貴重とされる埴輪をはじめ貴重な資料が多くあり、不定期ながら展示物の入れ替えを行っているようですが、資料館の場所や開館日などの情報が十分周知されているとは言えず、住民等への周知をはじめ、開館日の見直しが必要ではないかと思います。利用者数は増えず、開館日も少なく、借地料だけ掛かり続けるという状況を改善するためにも検討をしていただきたいと思います。

・人が集まりやすく入館しやすい場所への移設を検討した経緯があるとの説明がありました。結果は実現困難とのことですが、再考できたらよいと思いました。

・資料館の貯蔵品や展示物などを時系列・年代別にまとめるなど、観てまわる人の立場にたった整理、展示を行い、それらを資料・パンフレットにしたら興味の持ち方も変わり、観やすくなっていくのではないかと思います。みなかみ町は観光地であり、観光コースに史跡巡りコースなどを設けるといえるのはいかがでしょうか。

・生涯学習課では、歩くアプリを活用して、史跡巡りのコースを作り、史跡見学と体力作り（カロリー消費）を一緒にできるような事を検討中とのことですが、文化財の周知と健康作りを同時に進めることにつながり面白い取り組みだと思います。目的を持って歩くことは非常に良いことですので、是非、実現に向けた取り組みを検討してほしいと思います。

【総 評】

・コロナ禍の中、これからの時代何ができて何をしなければならないか、それらを明確にして、後手を踏まないように是非行って欲しいと思います。金銭面や優先順位もあると思いますが、みんなが納得できるような説明があれば協力も得られるので、しっかり計画していくことが大切であるかと思います。

・統合に関して、どんな学校になるだろうかと町民全体が注目しているかと思います。学力向上や部活動のような目に見えて分かるところが誇れるようにするとともに、特別支援とか不登校だとか外部に見えにくい部分もしっかりやっていくことが大切にな

ってくると思います。町民として、新しい学校はどうなるだろうかと期待をしています。スタートがしっかり出来ると、町全体が盛り上がってくると思います。

・社会教育・社会体育においても、優先順位を付け、これからの時代を、先手を打っておこなっていけば良いかと思っています。

教育委員会の点検・評価報告書
(令和元年度事業対象)

令和２年度３月発行

編集・発行 みなかみ町教育委員会
〒 379-1393
群馬県利根郡みなかみ町後閑 3 1 8 番地
TEL 0278-62-2275